

8 配偶者や交際相手等からの暴力について

(1) 「DV防止法」及び「デートDV」の認知度

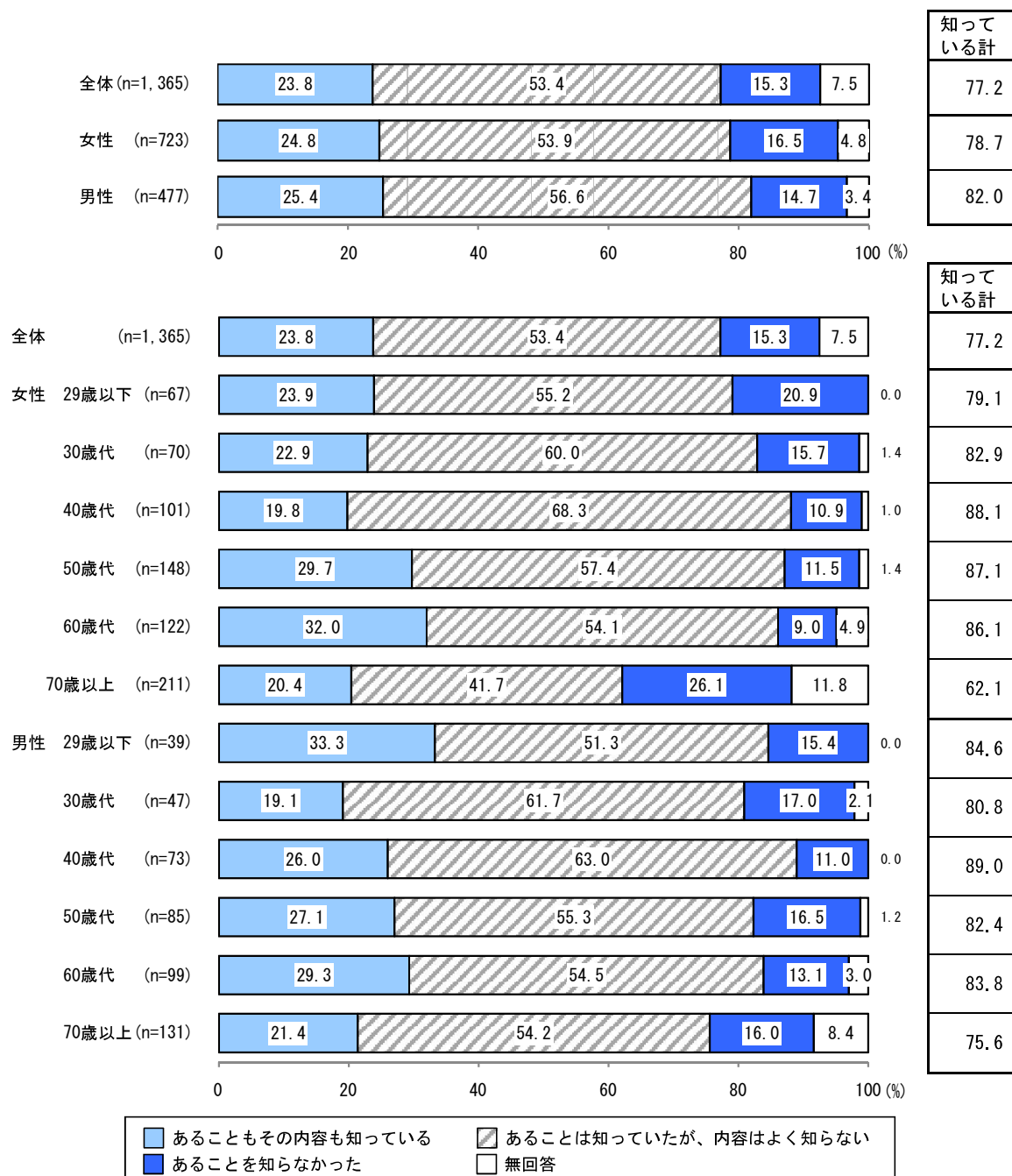
問21 あなたは、①「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」やその内容を知っていますか。また、②結婚していない交際中のパートナー間でおこる暴力を、特に、「デートDV」といいますが、あなたはこの「デートDV」という言葉やその内容を知っていますか。（それぞれ○は一つ）

①「DV防止法」の認知度

全体は、“知っている計”の割合は77.2%となっている。

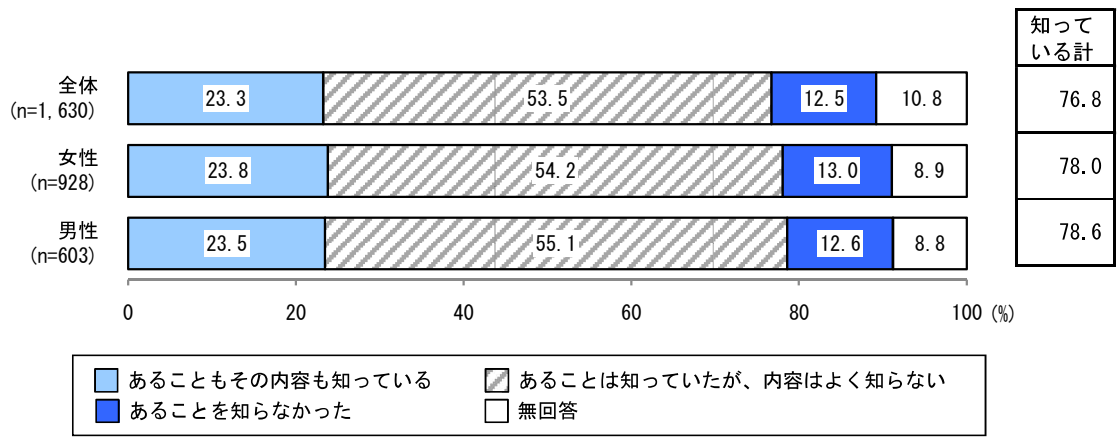
性・年代別で見ると、“知っている計”の割合は男女とも70歳以上で最も低い。

前回調査との比較で見ても大きな差はみられない。



※知っている計：「あることもその内容も知っている」「あることは知っていたが、内容はよく知らない」を合わせた値

【前回調査（令和2年）】

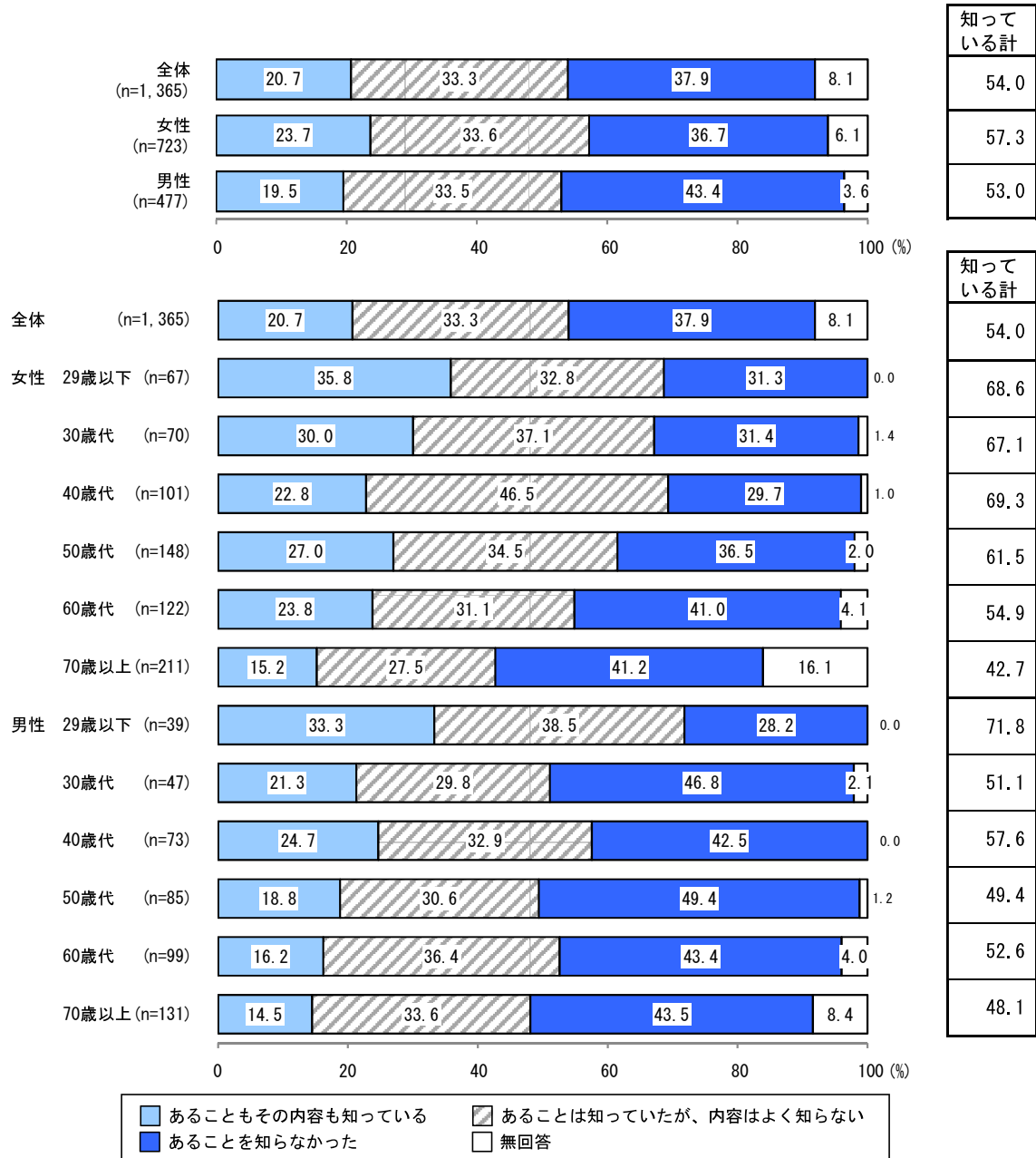


②「デートDV」の認知度

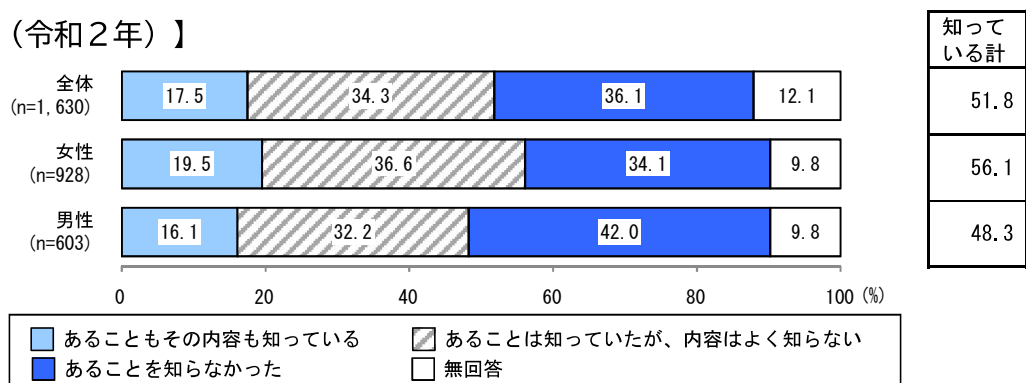
全体は、“知っている計”の割合は54.0%となっている。

性・年代別で見ると、“知っている計”の割合は年代の低い層で高くなっている。男性の「あることを知らなかった」の割合は30歳代から50歳代で女性と比べて高い。

前回調査との比較で見ると、“知っている計”の割合は前回より2.2ポイント高くなっている。



【前回調査（令和2年）】

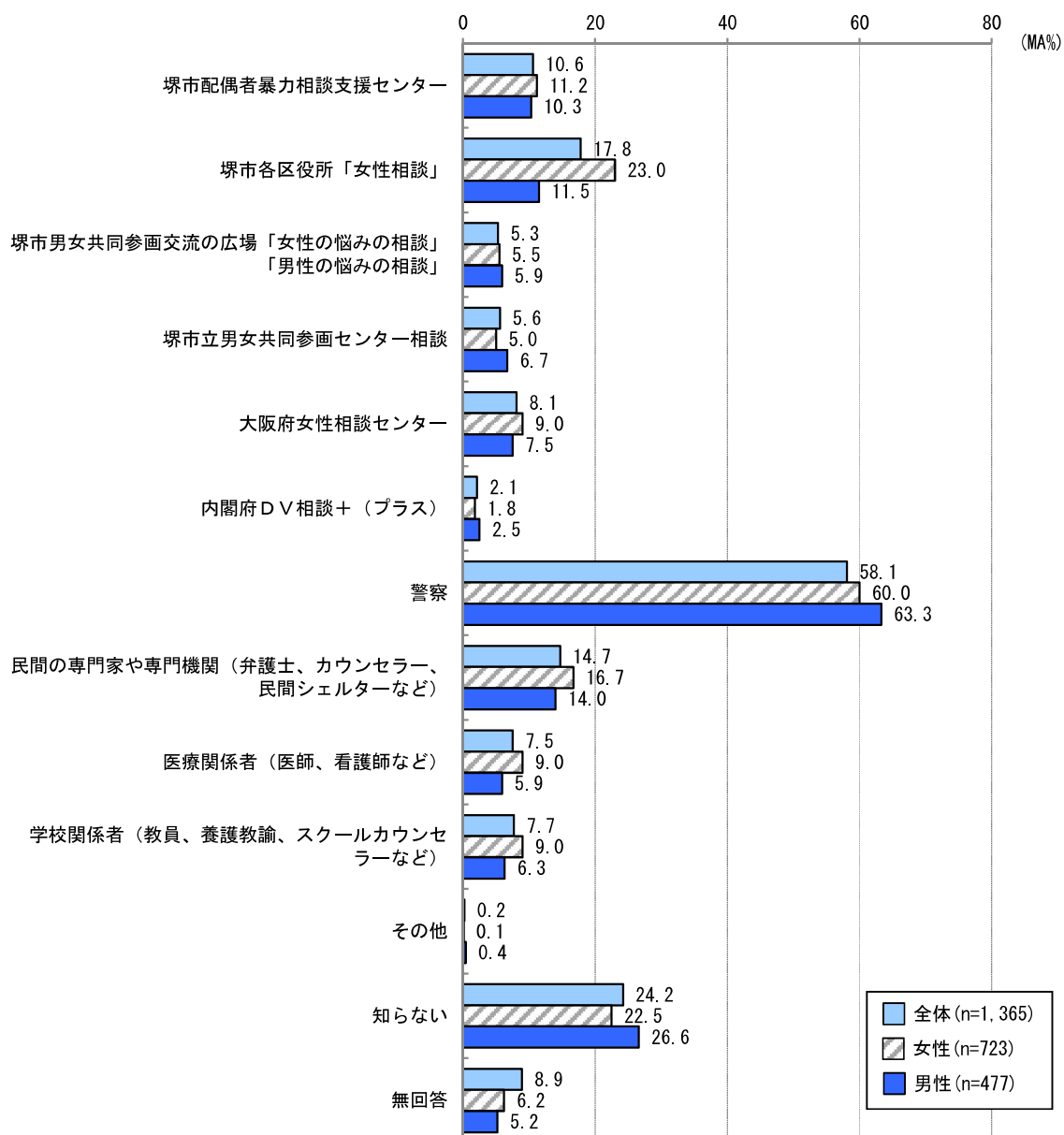


(2) DVに関する相談窓口で知っているもの

問22 あなたは、配偶者や交際相手からの暴力についてどのような相談窓口を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)
 なお、ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の配偶者も含まれます。

全体は、「警察」(58.1%)が最も多く、次いで「堺市各区役所「女性相談」」(17.8%)となっている。

性別で見ると、男女とも「警察」の割合が最も高い。女性の「堺市各区役所「女性相談」」の割合は男性より11.5ポイント高くなっている。

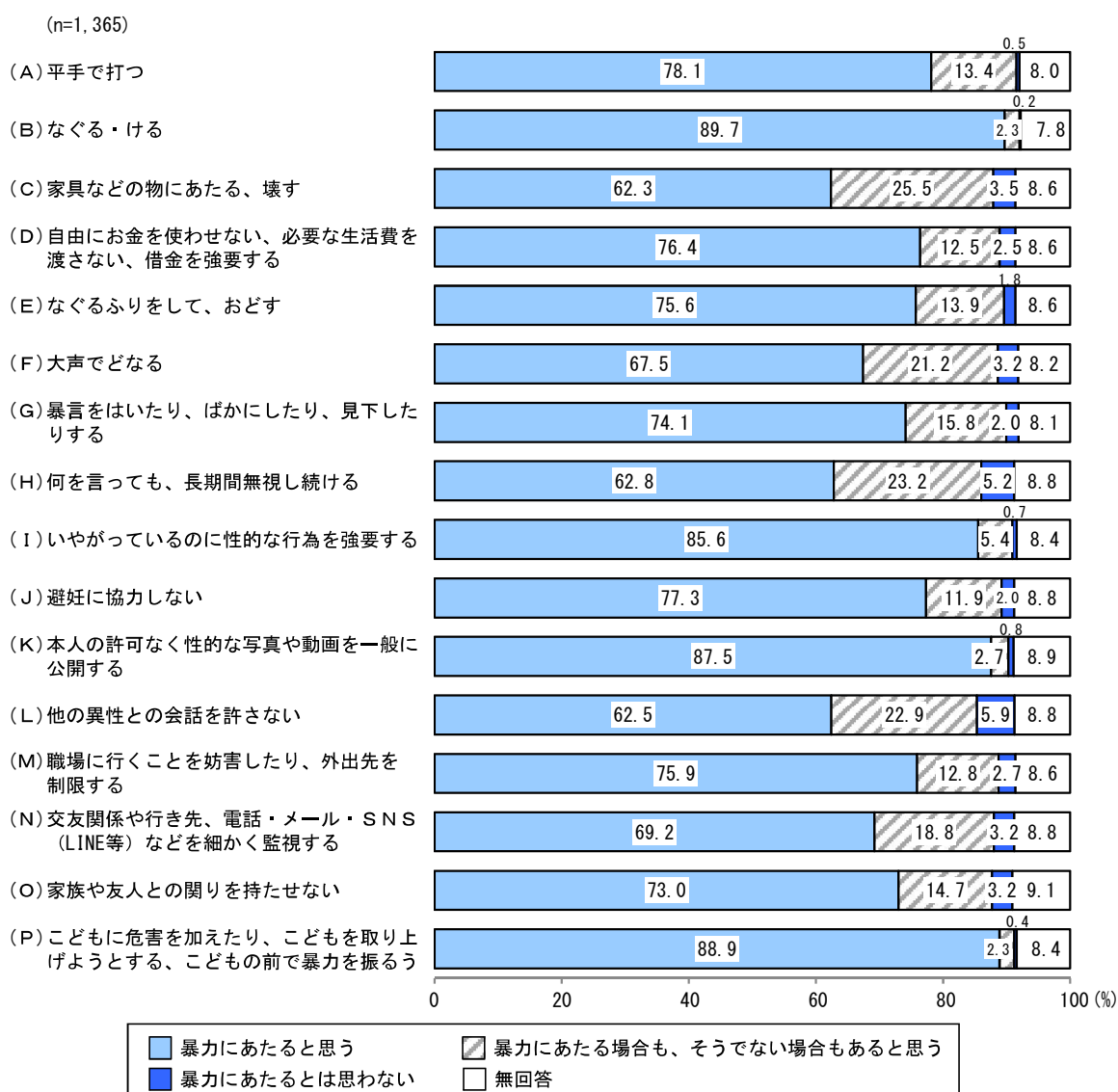


(3) 暴力と認識される行為

問23 あなたは、配偶者や交際相手から次のようなことが相手に対して行われた場合、それを暴力だと思いますか。なお、ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の配偶者も含みます。（それぞれ○は一つ）

全体は、「暴力にあたると思う」の割合は『(B) ながる・ける』(89.7%)が最も高く、次いで『(P) こどもに危害を加えたり、こどもを取り上げようとする、こどもの前で暴力を振るう』(88.9%)となっている。

性別で見ると、女性の「暴力にあたると思う」の割合は『(C) 家具などの物にあたる、壊す』『(D) 自由にお金を使わせない、必要な生活費を渡さない、借金を強要する』『(F) 大声でどなる』で男性に比べて10ポイント以上高くなっている。



【性別】

(単位：%)	女性 (n=723)				男性 (n=477)			
	暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答	暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
(A) 平手で打つ	82.4	11.5	0.4	5.7	79.2	17.0	0.6	3.1
(B) なぐる・ける	92.8	2.1	-	5.1	93.9	2.5	0.2	3.4
(C) 家具などの物にあたる、壊す	69.2	22.5	2.2	6.1	57.9	32.9	5.0	4.2
(D) 自由にお金を使わせない、必要な生活費を渡さない、借金を強要する	84.0	8.6	1.2	6.2	71.9	19.5	4.4	4.2
(E) なぐるふりをして、おどす	80.4	11.9	1.5	6.2	75.9	18.0	2.1	4.0
(F) 大声でどなる	73.9	17.8	2.6	5.7	63.3	28.7	4.2	3.8
(G) 暴言をはいたり、ばかにしたり、見下したりする	80.1	12.7	1.7	5.5	71.9	22.0	2.3	3.8
(H) 何を言っても、長期間無視し続ける	67.8	21.2	4.8	6.2	61.4	28.1	5.7	4.8
(I) いやがっているのに性的な行為を強要する	88.9	4.7	0.6	5.8	88.5	7.5	0.2	3.8
(J) 避妊に協力しない	81.3	10.9	1.2	6.5	78.8	14.3	2.9	4.0
(K) 本人の許可なく性的な写真や動画を一般に公開する	90.9	1.7	0.6	6.9	91.0	4.0	1.0	4.0
(L) 他の異性との会話を許さない	66.9	22.3	4.3	6.5	60.8	27.5	7.8	4.0
(M) 職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	79.3	12.0	2.4	6.4	77.6	15.5	3.1	3.8
(N) 交友関係や行き先、電話・メール・SNS (LINE等)などを細かく監視する	72.6	18.1	3.0	6.2	69.4	22.6	3.8	4.2
(O) 家族や友人との関りを持たせない	77.2	13.1	2.9	6.8	73.0	19.5	3.4	4.2
(P) こどもに危害を加えたり、こどもを取り上げようとする、こどもの前で暴力を振るう	91.8	1.9	0.1	6.1	92.7	2.9	0.6	3.8

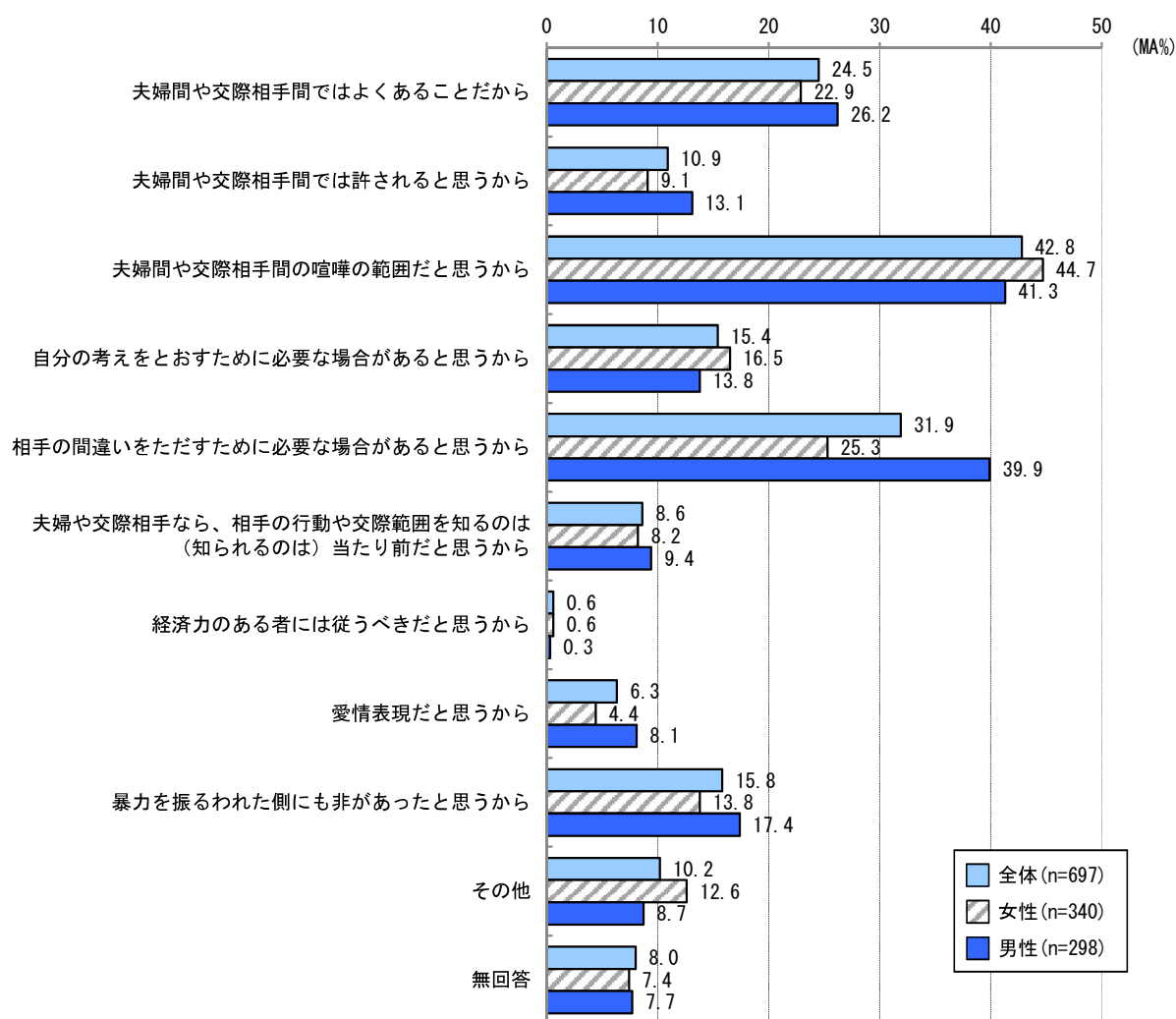
(4) 暴力にあたらない場合があると思う理由

問23-1は、問23で一つでも「2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」、「3. 暴力にあたるとは思わない」と回答した方にお聞きします。

問23-1 そのような行為が「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」、「暴力にあたるとは思わない」と思ったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

全体は、「夫婦間や交際相手間の喧嘩の範囲だと思うから」(42.8%)が最も多く、次いで「相手の間違いをただすために必要な場合があると思うから」(31.9%)となっている。

性別で見ると、男性は「相手の間違いをただすために必要な場合があると思うから」の割合が女性に比べて14.6ポイント高い。

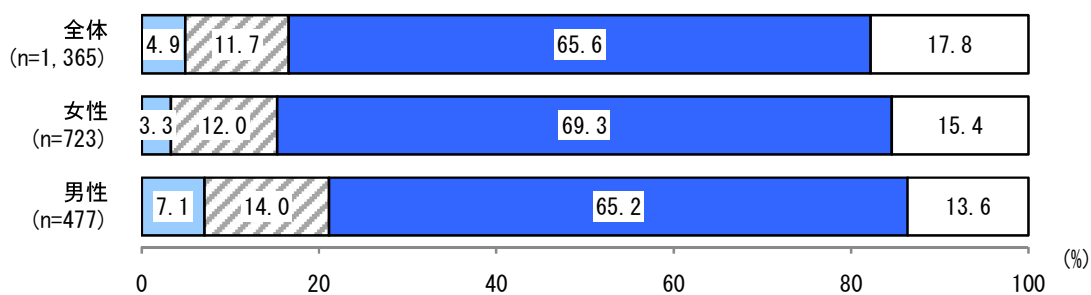


(5) 結婚経験・交際経験の有無

問24 あなたは、結婚した経験、交際相手があった経験がありますか。なお、ここでの「結婚」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の配偶者も含まれます。
(○は一つ)

全体は、「既婚（現在、夫または妻がいる）、または離別（結婚していたが、離婚した）、または死別（結婚していたが、死別した）」（65.6%）が最も多く、次いで「未婚（結婚したことはない）で、現在交際相手がいる、または過去に交際相手があった」（11.7%）となっている。

性別で見ると、女性の「既婚（現在、夫または妻がいる）、または離別（結婚していたが、離婚した）、または死別（結婚していたが、死別した）」の割合は男性に比べ4.1ポイント高くなっている。



- 未婚（結婚したことはない）で、現在も過去も交際相手があった経験はない
- 未婚（結婚したことはない）で、現在交際相手がいる、または過去に交際相手があった
- 既婚（現在、夫または妻がいる）、または離別（結婚していたが、離婚した）、または死別（結婚していたが、死別した）
- 無回答

(6) 配偶者からの暴力の被害経験の有無

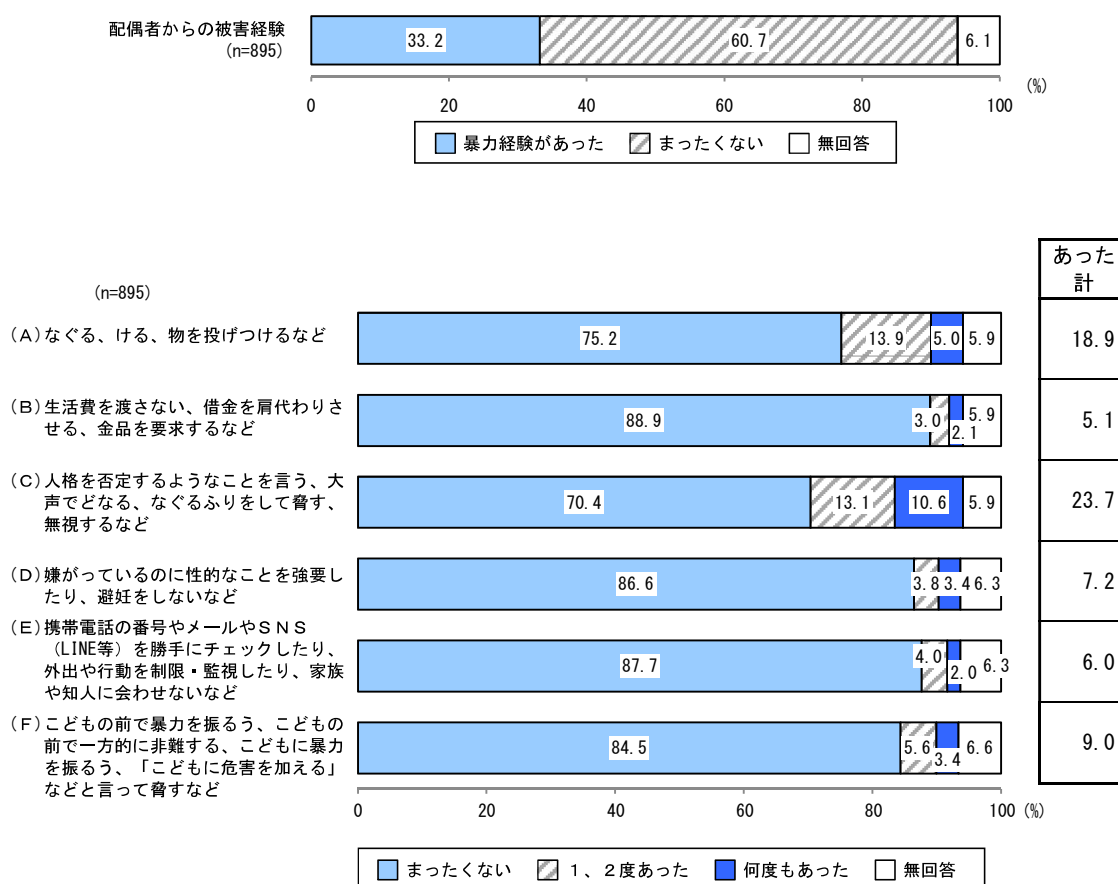
問24で「3. 既婚、または離別、または死別」と回答された方にお聞きします。
 問25 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。また「①これまで」で「1, 2度あった」「何度もあった」と回答した方は、「②この1年間」についてもお答えください。（それぞれ○は一つ）

①これまでの配偶者からの暴力の被害経験の有無

全体は、“あった計”の割合は『(C)人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、無視するなど』(23.7%)が最も高くなっている。

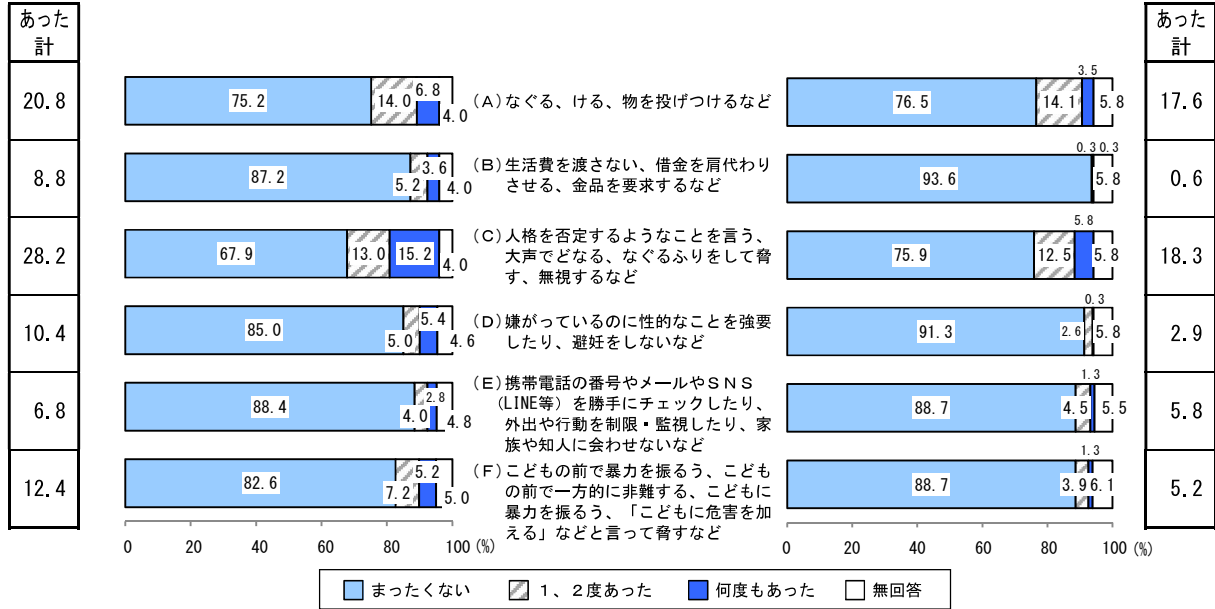
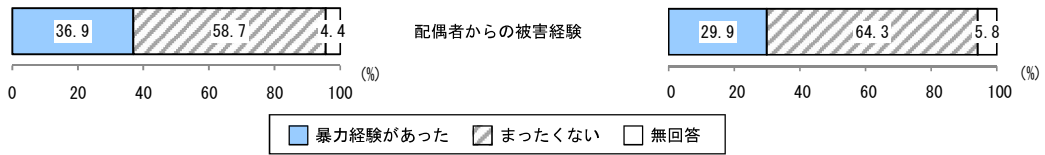
性別で見ると、“あった計”の割合はすべての項目で女性が男性に比べて高くなっており、『(C)人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、無視するなど』の割合が9.9ポイント高い。

前回調査との比較で見ると、全体の“あった計”の割合は『(B)生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど』と『(D)嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしないなど』の割合は前回より低いが、それ以外の項目では前回より高くなっている。



【女性(n=501)】

【男性(n=311)】



*あつた計：「何度もあった」「1、2度あった」をあわせた値

【前回調査 (令和2年)】

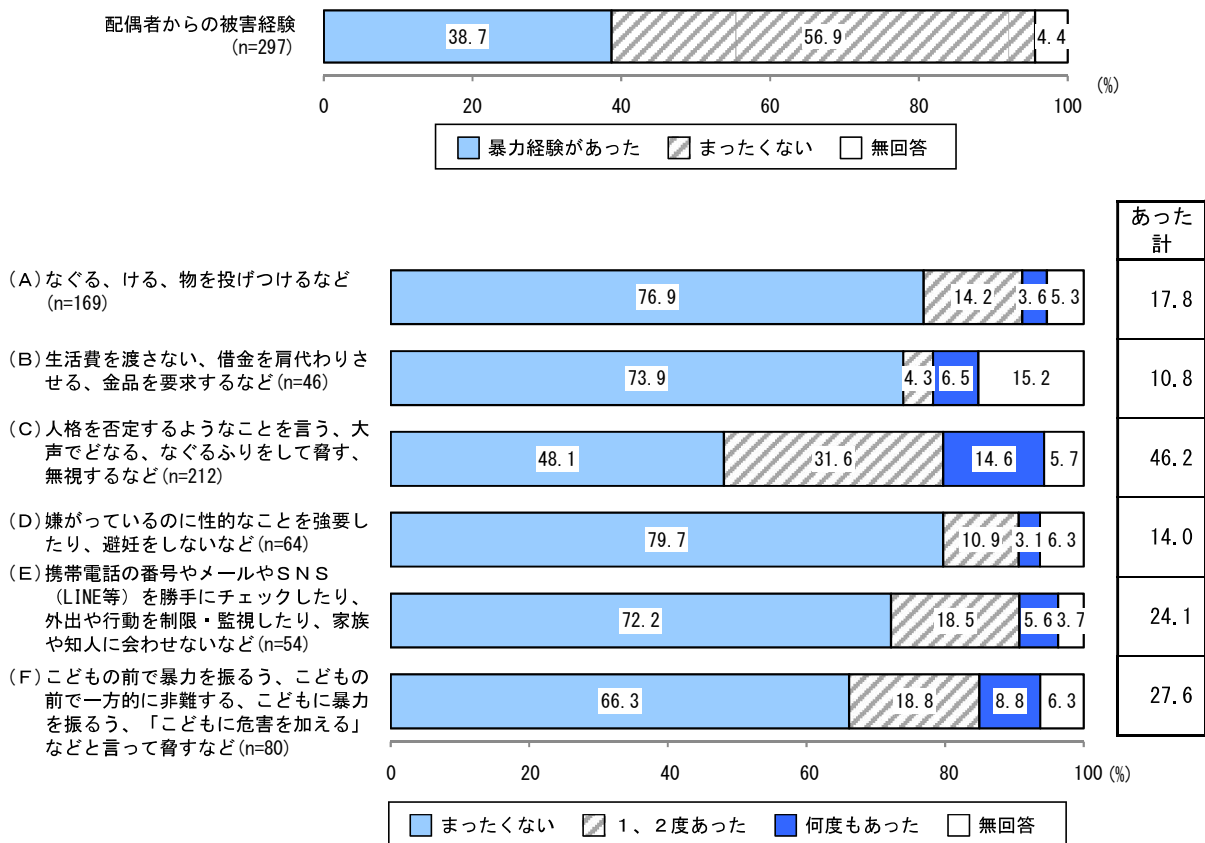
(単位：%)	全体 (n=1,169)				女性 (n=684)				男性 (n=422)			
	まったくない	1、2度あった	何度もあった	無回答	まったくない	1、2度あった	何度もあった	無回答	まったくない	1、2度あった	何度もあった	無回答
(A) ながる、ける、物を投げつけるなど	70.1	13.2	4.2	12.6	68.6	15.1	5.0	11.4	74.6	10.2	3.1	12.1
(B) 生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど	81.5	2.5	3.0	13.0	80.8	2.9	4.4	11.8	86.0	1.4	0.7	11.8
(C) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、ながるふりをして脅す、無視するなど	66.4	11.7	8.3	13.6	63.6	13.3	10.8	12.3	73.0	9.5	5.0	12.6
(D) 嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしないなど	79.0	4.9	3.0	13.1	76.2	7.2	5.0	11.7	86.5	1.4	0.0	12.1
(E) 携帯電話の番号やメールやSNS (LINE等) を勝手にチェックしたり、外出や行動を制限・監視したり、家族や知人に会わせないなど	82.3	2.8	1.7	13.2	82.3	3.7	2.0	12.0	85.5	1.7	0.9	11.8
(F) こどもの前で暴力を振るう、こどもの前で一方的に非難する、こどもに暴力を振るう、「こどもに危害を加える」などと言って脅すなど	79.1	3.4	4.0	13.4	78.5	3.8	5.4	12.3	82.7	2.8	2.4	12.1

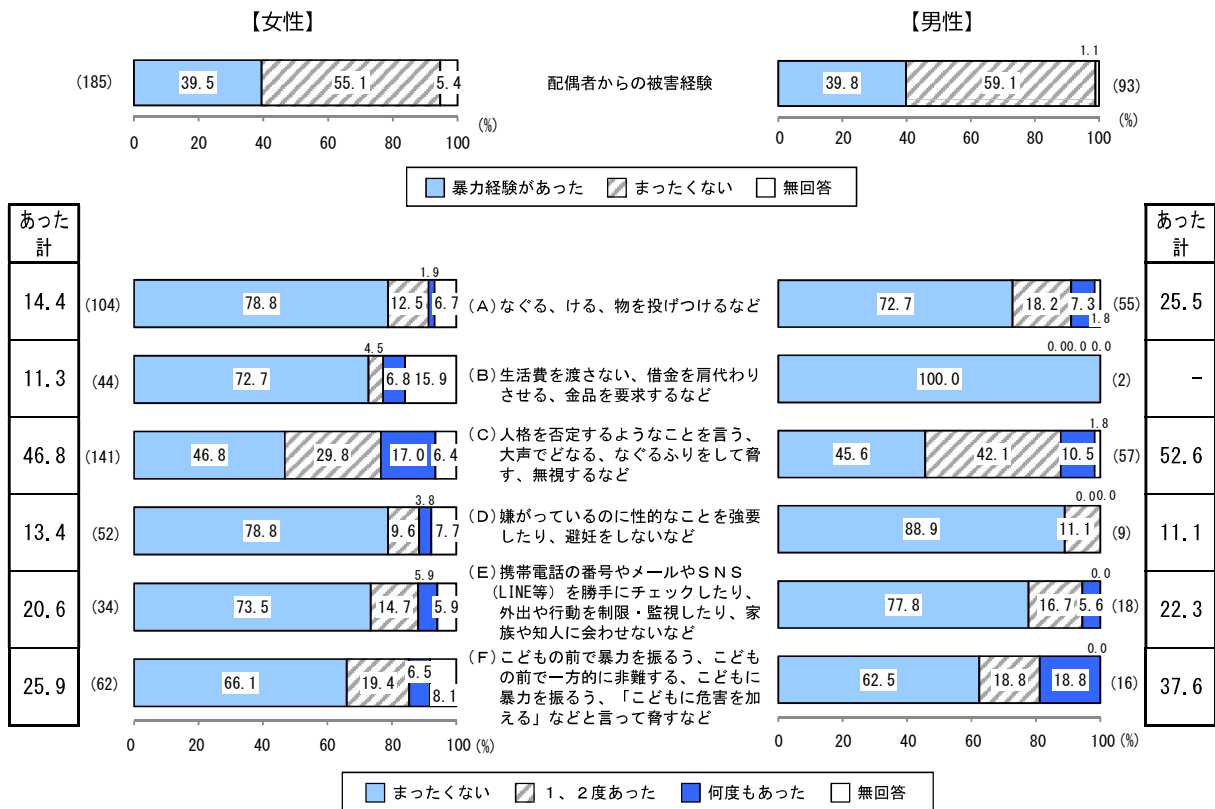
②過去1年以内の配偶者からの暴力の被害経験の有無

全体は、“あった計”の割合は『(C) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、無視するなど』(46.2%)が最も高くなっている。

性別で見ると、男性の“あった計”の割合は『(A) なぐる、ける、物を投げつけるなど』『(F) こどもの前で暴力を振るう、こどもの前で一方的に非難する、こどもに暴力を振るう、「こどもに危害を加える」などと言って脅すなど』は女性に比べて10ポイント以上高くなっている。

前回調査との比較で見ると、全体の“あった計”の割合は『(B) 生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど』が前回より9.6ポイント低くなっている。



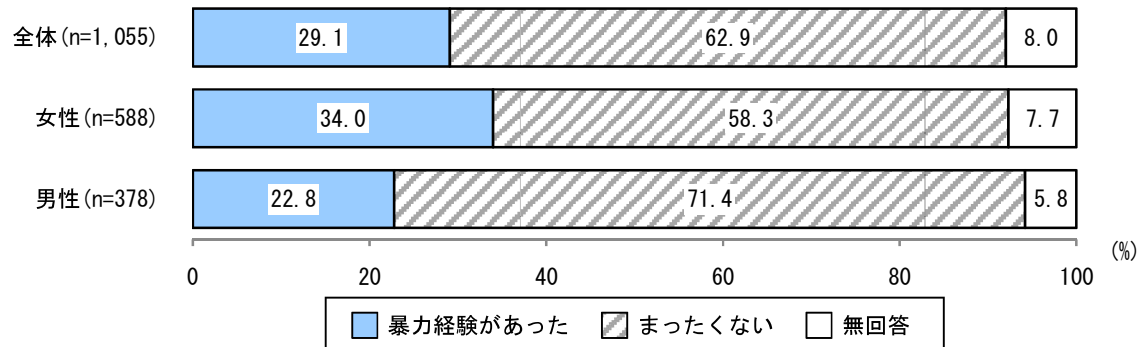


【前回調査（令和2年）】

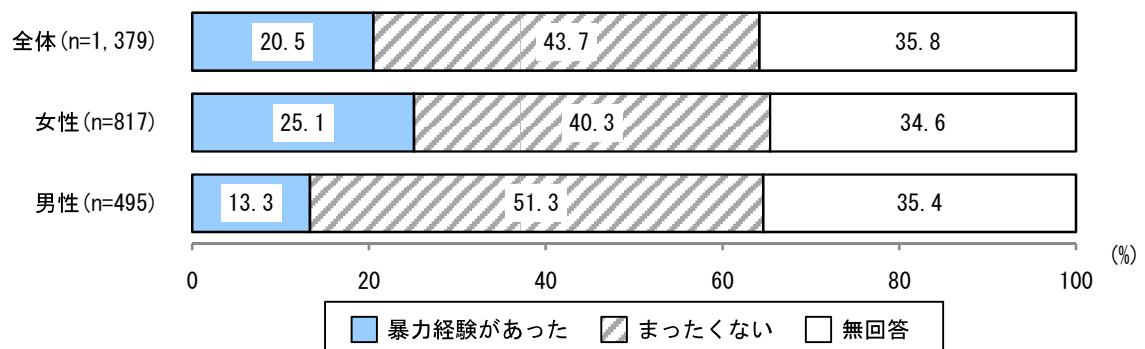
(単位：%)	全体				女性				男性			
	まったく ない	1、2度 あった	何度も あった	無回答	まったく ない	1、2度 あった	何度も あった	無回答	まったく ない	1、2度 あった	何度も あった	無回答
(A) なぐる、ける、物を投げつけるなど (n=203)	74.4	13.8	3.0	8.9	74.5	14.6	2.2	8.8	75.0	14.3	5.4	5.4
(B) 生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど (n=64)	64.1	6.3	14.1	15.6	68.0	4.0	14.0	14.0	55.6	22.2	22.2	-
(C) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、無視するなど (n=234)	48.3	26.5	17.5	7.7	46.1	26.7	18.8	8.5	54.1	26.2	16.4	3.3
(D) 嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしないなど (n=92)	69.6	14.1	6.5	9.8	69.9	13.3	7.2	9.6	66.7	16.7	-	16.7
(E) 携帯電話の番号やメールやSNS (LINE等) を勝手にチェックしたり、外出や行動を制限・監視したり、家族や知人に会わせないなど (n=53)	67.9	17.0	7.5	7.5	74.4	12.8	5.1	7.7	45.5	36.4	18.2	-
(F) こどもの前で暴力を振るう、こどもの前で一方的に非難する、こどもに暴力を振るう、「こどもに危害を加える」などと言って脅すなど (n=87)	58.6	20.7	11.5	9.2	58.7	22.2	9.5	9.5	54.5	18.2	18.2	9.1

(7) 交際相手からの暴力の被害経験の有無

既婚、未婚に関わらず、現在・過去に交際相手がいる・いた人すべてにお聞きします。
 問26 あなたは、現在及び過去に交際相手から次のようなことをされたことがありますか。また、それは何歳の頃にされましたか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

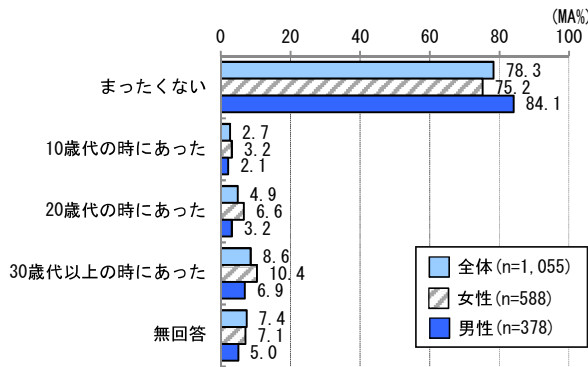


【前回調査 (令和2年)】

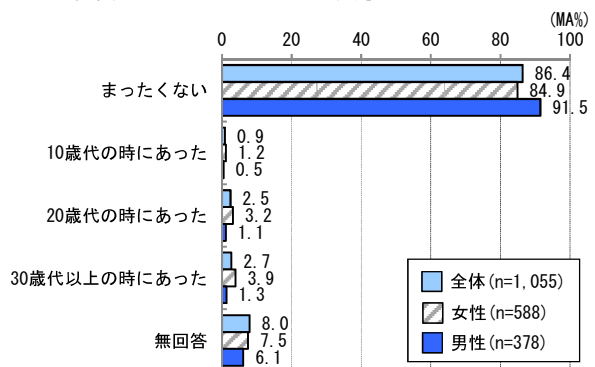


全体及び女性では、「20歳代の時にあった」「30歳代以上の時にあった」の割合は『(C) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、無視するなど』が最も高く、「10歳代の時にあった」の割合は『(D)嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしないなど』が最も高い。

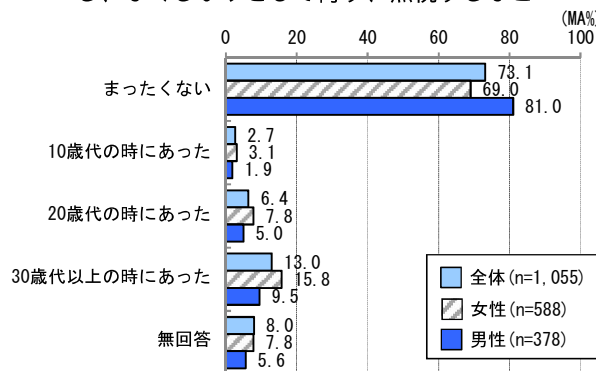
(A)なぐる、ける、物を投げつけるなど



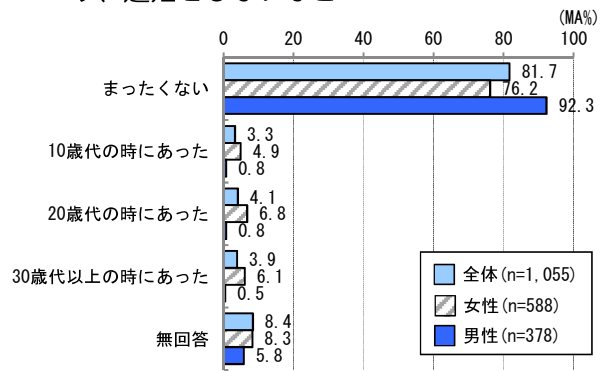
(B)給料・バイト代や貯金を勝手に使われる、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど



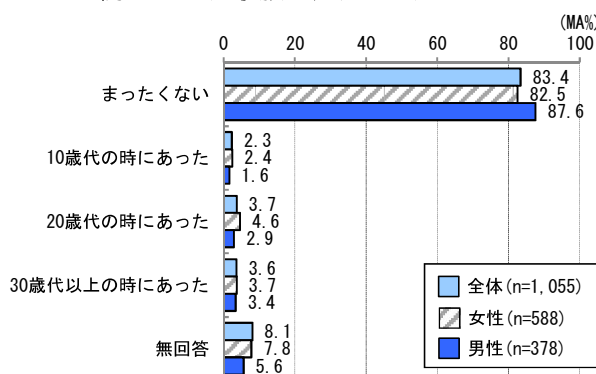
(C)人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、無視するなど



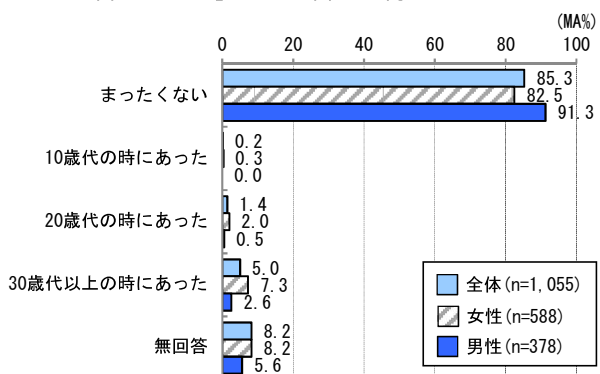
(D)嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしないなど



(E)携帯電話の番号やメールやSNS(LINE等)を勝手にチェックしたり、外出や行動を制限・監視したり、家族や知人に会わせないなど



(F)こどもの前で暴力を振るう、こどもの前で一方的に非難する、こどもに暴力を振るう、「こどもに危害を加える」などと言って脅すなど



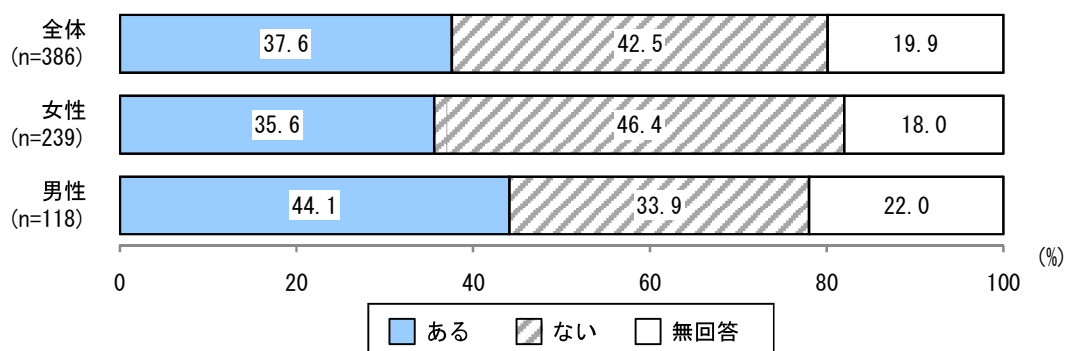
(8) 同棲経験の有無

問26-1は、配偶者や交際相手から暴力を受けた経験があると回答された方にお聞きします。

問26-1 あなたは、現在及び過去に交際相手と同居した経験（いわゆる「同棲経験」）がありますか。（○は一つ）

全体は、「ある」が37.6%、「ない」が42.5%となっている。

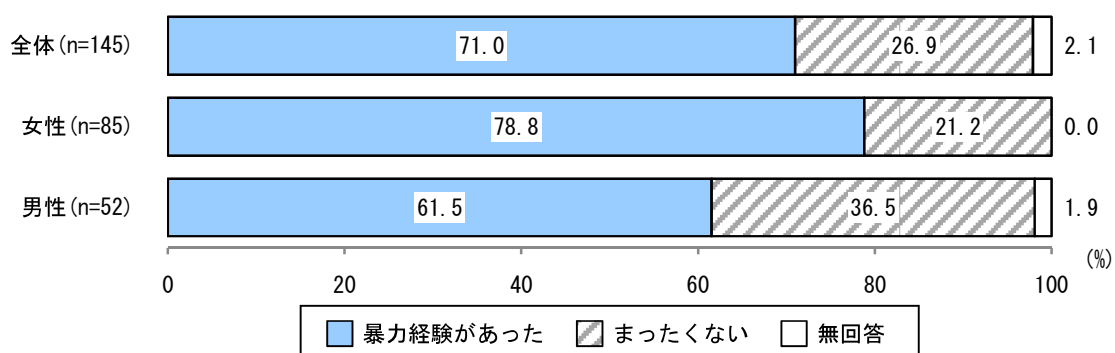
性別で見ると、「ある」の割合は女性より男性のほうが8.5ポイント高くなっている。



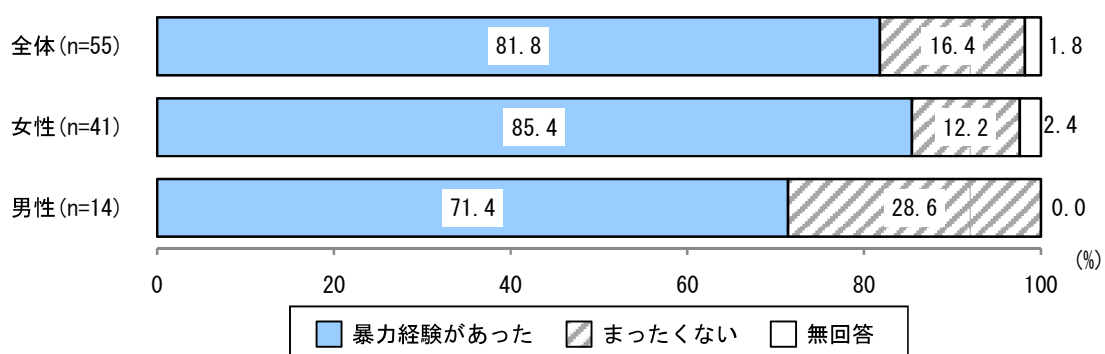
(9) 同棲相手からの暴力の被害経験の有無

問26-2は、問26-1で「1. ある」と回答された方にお聞きします。

問26-2 あなたは、過去に同居していた交際相手や現在同居している交際相手（いわゆる同棲相手）から同居（同棲）中に次のようなことをされたことがありますか。また、それは何歳の頃にされましたか。（それぞれあてはまるものすべてに○）



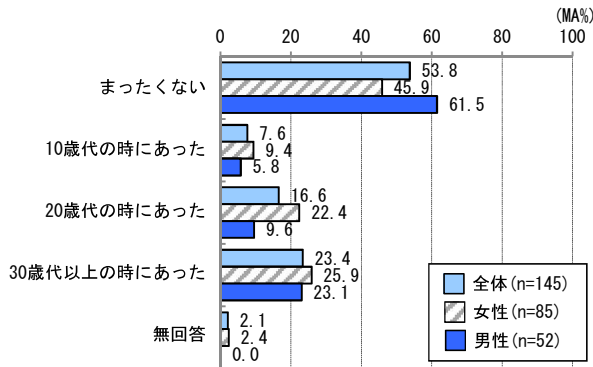
【前回調査（令和2年）】



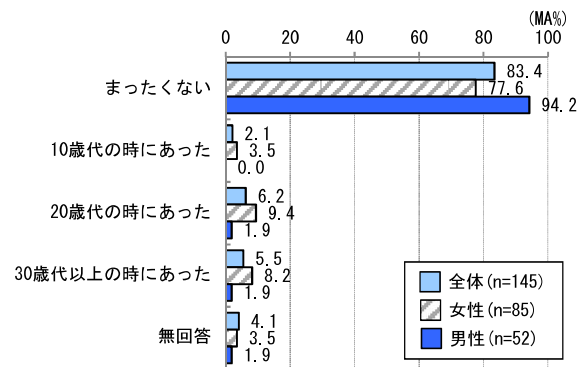
全体は、「20歳代の時にあった」「30歳代以上の時にあった」の割合は『(C)人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、無視するなど』で最も高くなっている。

性別で見ると、すべての項目であった割合は男性より女性のほうが高くなっている。

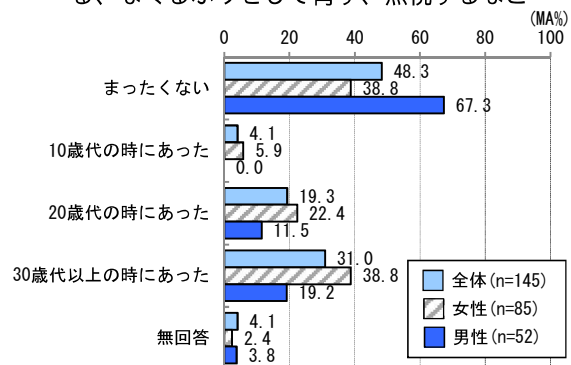
(A)なぐる、ける、物を投げつけるなど



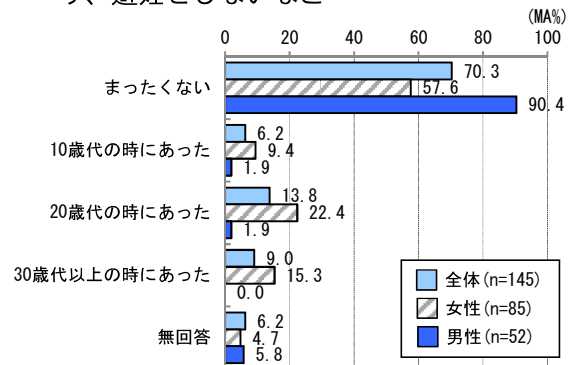
(B)給料・バイト代や貯金を勝手に使われる、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど



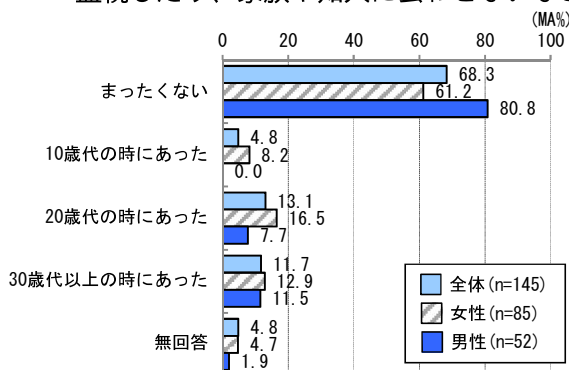
(C)人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、無視するなど



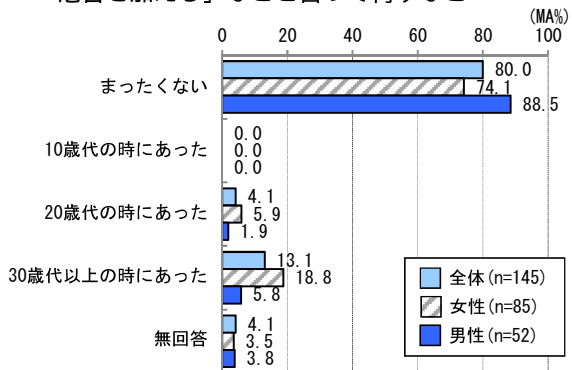
(D)嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしないなど



(E)携帯電話の番号やメールやSNS(LINE等)を勝手にチェックしたり、外出や行動を制限・監視したり、家族や知人に会わせないなど



(F)こどもの前で暴力を振るう、こどもの前で一方的に非難する、こどもに暴力を振るう、「こどもに危害を加える」などと言って脅すなど



(10) 配偶者や交際相手からの暴力の相談相手

問27は、配偶者や交際相手から暴力を受けた経験がある方にお聞きします。
 問27 あなたはこれまでに、あなたの①配偶者や②交際相手から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。（あてはまるものすべてに○）

①配偶者からの暴力

全体は、「どこ（だれ）にも相談しなかった」（41.4%）が最も多く、次いで「友人や知人」（15.5%）となっている。

性別で見ると、女性の「家族や親戚」「友人や知人」の割合は男性に比べ10ポイント以上高くなっている。一方、「どこ（だれ）にも相談しなかった」の割合は女性に比べ男性は11.1ポイント高くなっている。

前回調査との比較で見ると、全体は「家族や親戚」の割合が前回より4.2ポイント低くなっている。

(単位：MA%)	今回調査			前回調査（令和2年）		
	全体 (n=297)	女性 (n=185)	男性 (n=93)	全体 (n=328)	女性 (n=227)	男性 (n=87)
堺市配偶者暴力相談支援センター	0.7	-	2.2	0.6	-	1.1
堺市各区役所「女性相談」	1.0	1.1	1.1	2.1	2.6	1.1
堺市男女共同参画交流の広場「女性の悩みの相談」「男性の悩みの相談」	0.3	-	1.1	0.6	0.4	1.1
堺市立男女共同参画センター相談	0.3	-	1.1	0.3	-	1.1
大阪府女性相談センター	0.7	0.5	1.1	1.2	1.3	1.1
内閣府DV相談+（プラス）	0.3	-	1.1	/	/	/
警察	2.7	1.6	5.4	2.4	2.2	2.3
民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラー、民間シェルターなど）	2.4	3.8	-	1.5	1.8	1.1
医療関係者（医師、看護師など）	1.3	1.1	2.2	1.8	1.8	2.3
学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）	-	-	-	0.6	0.4	1.1
家族や親戚	13.8	18.9	5.4	18.0	23.3	5.7
友人や知人	15.5	20.0	8.6	14.6	17.6	5.7
その他	0.3	0.5	-	0.3	-	1.1
どこ（だれ）にも相談しなかった	41.4	37.3	48.4	34.5	32.2	40.2
無回答	31.6	28.1	36.6	36.9	31.7	51.7

②交際相手からの暴力

全体は、「どこ（だれ）にも相談しなかった」（29.0%）で最も多く、次いで「友人や知人」（20.8%）となっている。

性別で見ると、女性の「友人や知人」の割合は男性に比べ16.7ポイント高くなっている。一方、「どこ（だれ）にも相談しなかった」の割合は女性に比べ男性は25.2ポイント高くなっている。

前回調査との比較で見ると、全体は「友人や知人」の割合が前回より11.3ポイント高くなっている。

(単位：MA%)	今回調査			前回調査（令和2年）		
	全体 (n=307)	女性 (n=200)	男性 (n=86)	全体 (n=283)	女性 (n=205)	男性 (n=66)
堺市配偶者暴力相談支援センター	-	-	-	0.4	0.5	-
堺市各区役所「女性相談」	-	-	-	0.7	1.0	-
堺市男女共同参画交流の広場「女性の悩みの相談」「男性の悩みの相談」	-	-	-	-	-	-
堺市立男女共同参画センター相談	-	-	-	-	-	-
大阪府女性相談センター	0.3	0.5	-	-	-	-
内閣府DV相談+（プラス）	-	-	-			
警察	0.3	0.5	-	1.1	1.5	-
民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラー、民間シェルターなど）	-	-	-	-	-	-
医療関係者（医師、看護師など）	-	-	-	0.4	0.5	-
学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）	-	-	-	-	-	-
家族や親戚	6.5	8.0	4.7	3.2	3.9	1.5
友人や知人	20.8	26.0	9.3	9.5	12.7	1.5
その他	0.3	0.5	-	0.4	0.5	-
どこ（だれ）にも相談しなかった	29.0	22.5	47.7	20.5	19.5	25.8
無回答	48.5	49.5	41.9	67.5	64.4	72.7

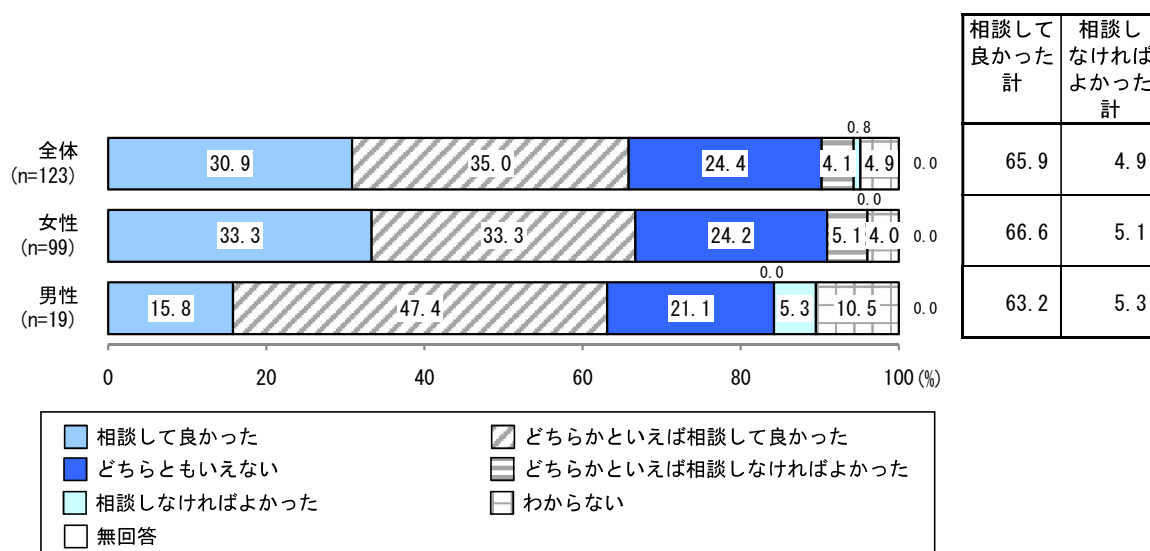
(11) 配偶者や交際相手からの暴力について相談後の評価

問27-1は、配偶者や交際相手から暴力を受けた行為について相談した経験がある方にお聞きします。

問27-1 相談後のあなたのお気持ちに一番近いものはどれですか。(○は一つ)

全体は、“相談して良かった計”の割合は65.9%となっている。

性別で見ると、“相談して良かった計”の割合は男性に比べ女性がやや高く、「相談して良かった」の割合は男性より女性のほうが17.5ポイント高くなっている。



※相談して良かった計：「相談して良かった」「どちらかといえば相談して良かった」を合わせた値

相談しなければよかった計：「相談しなければよかった」「どちらかといえば相談しなければよかった」を合わせた値

(12) 相談しなかった理由

問27-2は、問27で「N どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。
問27-2 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

①配偶者からの暴力

全体は、「相談するほどのことではないと思ったから」（51.2%）が最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」（23.6%）となっている。

性別で見ると、女性で「どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから」「相談してもむだだと思ったから」の割合が男性に比べて10ポイント以上高い。

前回調査との比較で見ると、全体は「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が前回より11.8ポイント低くなっている。

(単位：MA%)	今回調査			前回調査（令和2年）		
	全体 (n=123)	女性 (n=69)	男性 (n=45)	全体 (n=113)	女性 (n=73)	男性 (n=35)
どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから	8.1	13.0	2.2	10.6	11.0	5.7
恥ずかしくてだれにも言えなかったから	8.1	10.1	6.7	10.6	13.7	5.7
相談してもむだだと思ったから	22.0	26.1	15.6	21.2	26.0	11.4
自分が受けている行為がDVとは認識していなかったから	10.6	13.0	6.7	17.7	21.9	8.6
相手の仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど）	2.4	4.3	-	2.7	4.1	-
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	2.4	2.9	2.2	0.9	1.4	-
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	22.0	26.1	17.8	19.5	19.2	17.1
世間体が悪いと思ったから	5.7	5.8	6.7	7.1	8.2	5.7
他人を巻き込みたくなかったから	6.5	7.2	4.4	9.7	11.0	5.7
他人に知られると、これまで通りのつき合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから	1.6	1.4	2.2	0.9	1.4	-
そのことについて思い出したくなかったから	4.1	7.2	-	4.4	4.1	2.9
自分にも悪いところがあると思ったから	23.6	24.6	26.7	35.4	28.8	51.4
相手の行為は愛情の表現だと思ったから	2.4	2.9	2.2	9.7	6.8	17.1
相談するほどのことではないと思ったから	51.2	53.6	46.7	58.4	50.7	80.0
その他	1.6	1.4	2.2	2.7	2.7	2.9
無回答	15.4	5.8	26.7	4.4	5.5	-

②交際相手からの暴力

全体は、「相談するほどのことではないと思ったから」（42.7%）が最も高く、次いで「相談してもむだだと思ったから」（13.5%）となっている。

性別で見ると、女性で「そのことについて思い出したくなかったから」の割合が男性に比べて11.1ポイント高い。男性で「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が女性に比べて22.6ポイント高い。

前回調査との比較で見ると、全体は「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が前回より22.7ポイント低くなっている。

(単位：MA%)	今回調査			前回調査（令和2年）		
	全体 (n=89)	女性 (n=45)	男性 (n=41)	全体 (n=58)	女性 (n=40)	男性 (n=17)
どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから	4.5	6.7	2.4	15.5	20.0	5.9
恥ずかしくてだれにも言えなかったから	6.7	11.1	2.4	15.5	17.5	11.8
相談してもむだだと思ったから	13.5	15.6	12.2	15.5	17.5	11.8
自分が受けている行為がDVとは認識していなかったから	3.4	4.4	2.4	22.4	27.5	11.8
相手の仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど）	1.1	2.2	-	5.2	5.0	5.9
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	3.4	-	7.3	-	-	-
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	4.5	2.2	7.3	22.4	22.5	23.5
世間体が悪いと思ったから	2.2	2.2	2.4	6.9	5.0	11.8
他人を巻き込みたくなかったから	1.1	-	2.4	13.8	12.5	17.6
他人に知られると、これまで通りのつき合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから	1.1	-	2.4	5.2	5.0	5.9
そのことについて思い出したくなかったから	5.6	11.1	-	10.3	12.5	5.9
自分にも悪いところがあると思ったから	10.1	6.7	14.6	32.8	32.5	35.3
相手の行為は愛情の表現だと思ったから	4.5	2.2	4.9	20.7	17.5	29.4
相談するほどのことではないと思ったから	42.7	31.1	53.7	44.8	40.0	52.9
その他	-	-	-	-	-	-
無回答	38.2	44.4	34.1	8.6	10.0	5.9

(13) 配偶者や交際相手から暴力を受けた時の行動

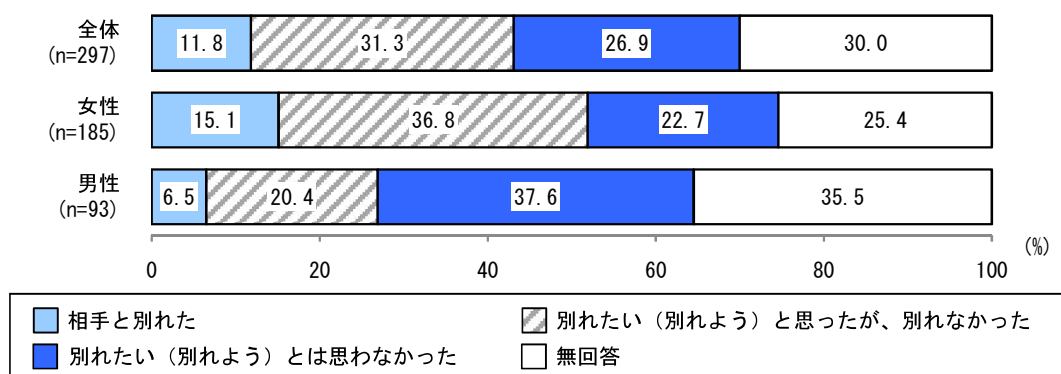
問28は、配偶者や交際相手から暴力を受けた経験がある方に改めてお聞きします。
 問28 あなたは、あなたの配偶者や交際相手からそのような行為を受けたとき、どうしましたか。①配偶者からと②交際相手から、それぞれでお答えください。
 (それぞれ○は一つ)

①配偶者からの暴力

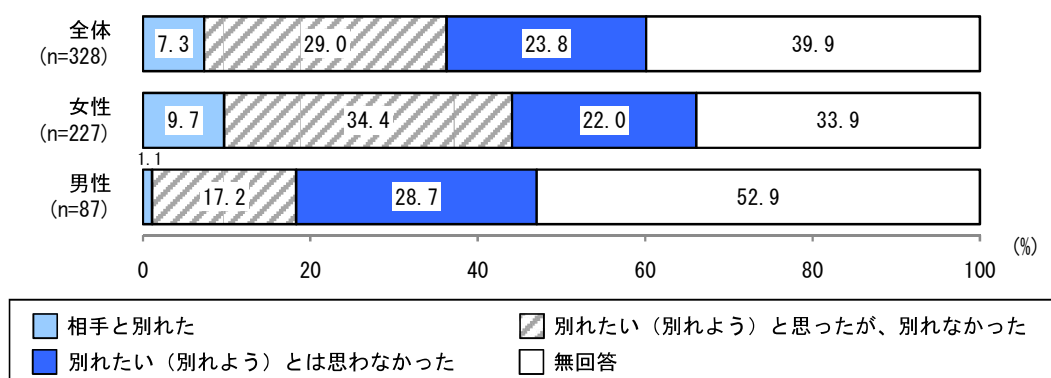
全体は、「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」（31.3%）が最も多く、次いで「別れたい（別れよう）とは思わなかった」（26.9%）となっている。

性別で見ると、女性は「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」の割合が男性に比べて16.4ポイント高い。

前回調査との比較で見ると、「相手と別れた」の割合は前回より4.5ポイント高くなっている。



【前回調査（令和2年）】

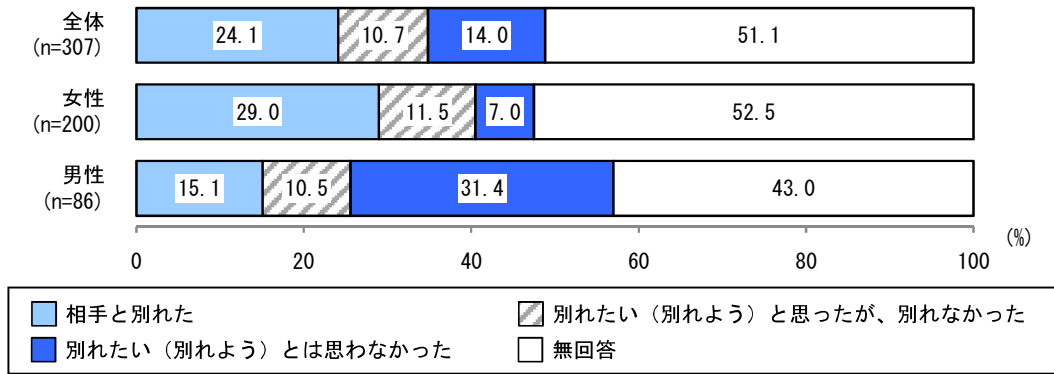


②交際相手からの暴力

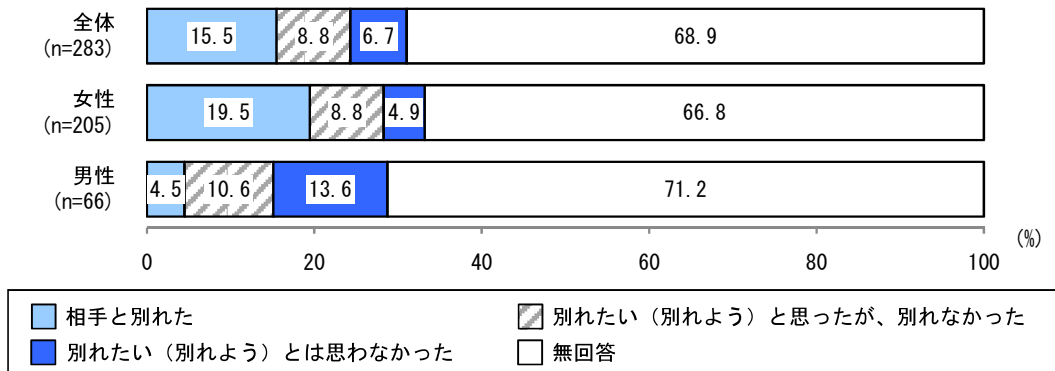
全体は、「相手と別れた」(24.1%)が最も多く、次いで「別れたい(別れよう)とは思わなかった」(14.0%)となっている。

性別で見ると、女性は「相手と別れた」の割合が男性に比べて13.9ポイント高い。

前回調査との比較で見ると、「相手と別れた」の割合は前回より8.6ポイント高くなっている。



【前回調査(令和2年)】



(14) 相手と別れなかった理由

問28-1は、問28で「B. 別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」と回答した方にお聞きします。

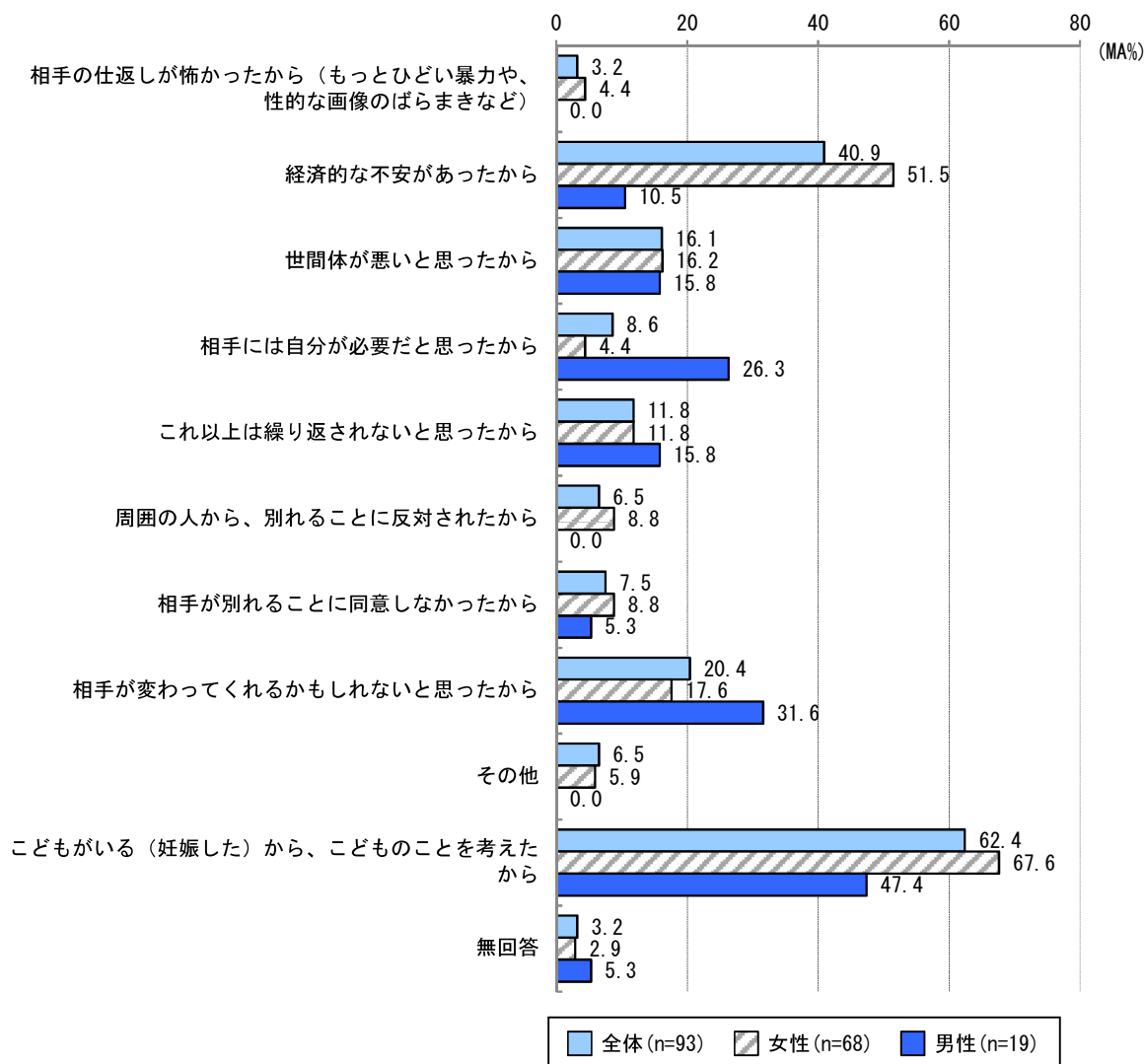
問28-1 あなたが、相手と別れなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

①配偶者からの暴力

全体は、「子どもがいる（妊娠した）から、子どものことを考えたから」（62.4%）が最も多く、次いで「経済的な不安があったから」（40.9%）となっている。

性別で見ると、女性では「子どもがいる（妊娠した）から、子どものことを考えたから」の割合が67.6%で最も高く、次いで「経済的な不安があったから」が51.5%となっている。男性のサンプル数が少ないため、一概に言えないが、「子どもがいる（妊娠した）から、子どものことを考えたから」が47.4%（9人）で最も高く、次いで「相手が変わってくれるかもしれないと思ったから」が31.6%（6人）となっている。

前回調査との比較で見ると、全体は「世間体が悪いと思ったから」の割合が前回より7.7ポイント高くなっている。



【前回調査（令和2年）】

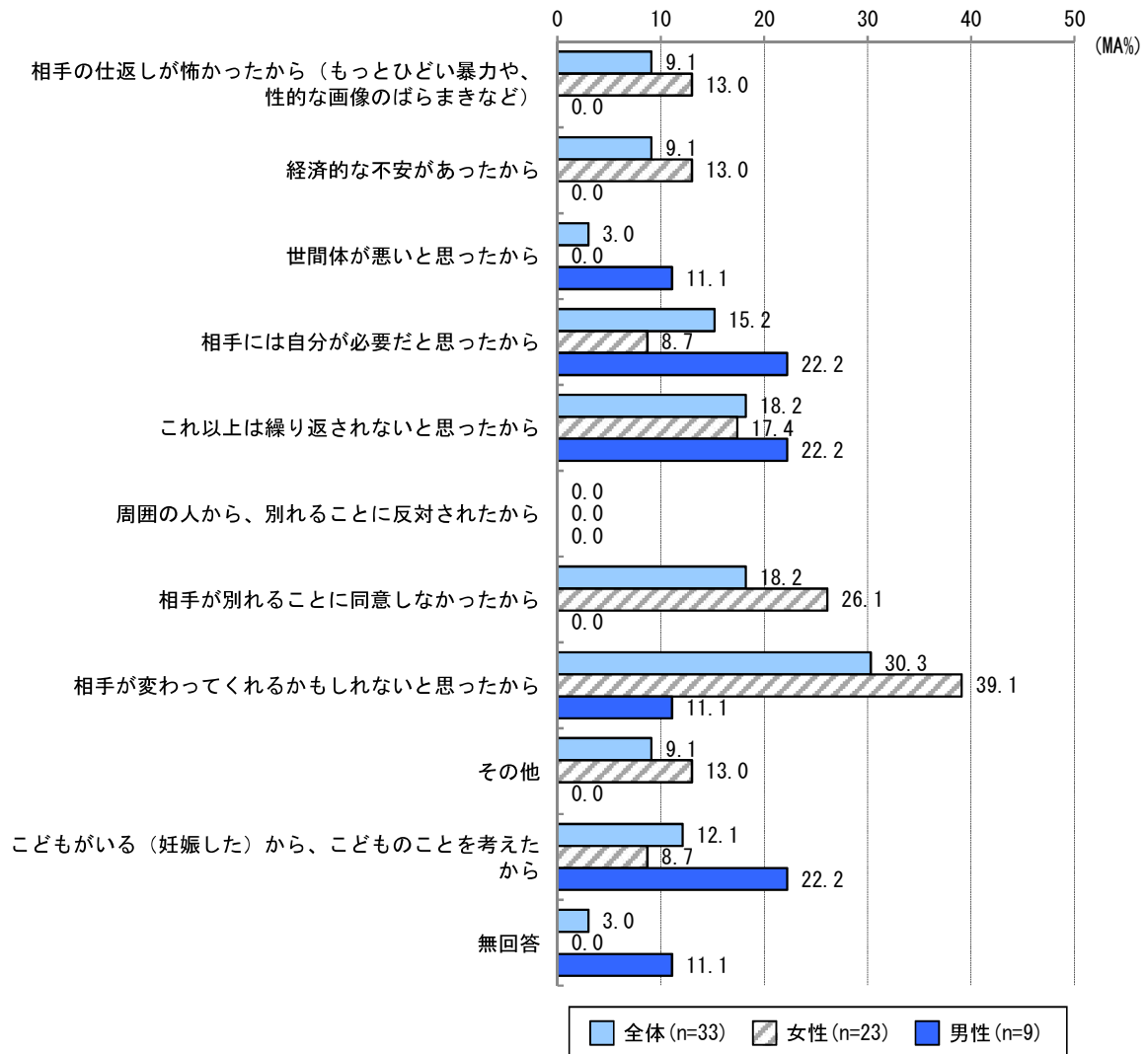
(単位：MA%)	前回調査（令和2年）		
	全体 (n=95)	女性 (n=78)	男性 (n=15)
相手の仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど）	4.2	5.1	-
経済的な不安があったから	42.1	50.0	-
世間体が悪いと思ったから	8.4	9.0	-
相手には自分が必要だと思ったから	11.6	6.4	33.3
これ以上は繰り返されないと考えたから	10.5	10.3	13.3
周囲の人から、別れることに反対されたから	8.4	9.0	6.7
相手が別れることに同意しなかったから	20.0	16.7	40.0
相手が変わってくれるかもしれないと思ったから	16.8	16.7	13.3
その他	2.1	2.6	-
子どもがいる（妊娠した）から、子どものことを考えたから	63.2	69.2	40.0
無回答	5.3	5.1	6.7

②交際相手からの暴力

全体は、「相手が変わってくれるかもしれないと思ったから」(30.3%・10人)が最も多く、次いで「これ以上は繰り返されないと思ったから」と「相手が別れることに同意しなかったから」がそれぞれ18.2%(6人)となっている。

性別で見ると、サンプル数が少ないため、一概に言えないが、女性では「相手が変わってくれるかもしれないと思ったから」の割合が39.1%(9人)で最も高い。

前回調査との比較で見ると、全体は「相手が変わってくれるかもしれないと思ったから」の割合が前回より21.7ポイント低くなっている。



【前回調査（令和2年）】

(単位：MA%)	前回調査（令和2年）		
	全体 (n=25)	女性 (n=18)	男性 (n=7)
相手の仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど）	8.0	11.1	-
経済的な不安があったから	4.0	5.6	-
世間体が悪いと思ったから	-	-	-
相手には自分が必要だと思ったから	24.0	22.2	28.6
これ以上は繰り返されないと考えたから	16.0	16.7	14.3
周囲の人から、別れることに反対されたから	-	-	-
相手が別れることに同意しなかったから	28.0	27.8	28.6
相手が変わってくれるかもしれないと思ったから	52.0	55.6	42.9
その他	4.0	5.6	-
子どもがいる（妊娠した）から、子どものことを考えたから	16.0	-	57.1
無回答	8.0	5.6	14.3

(15) こどものことで相手と別れなかった最も大きな理由

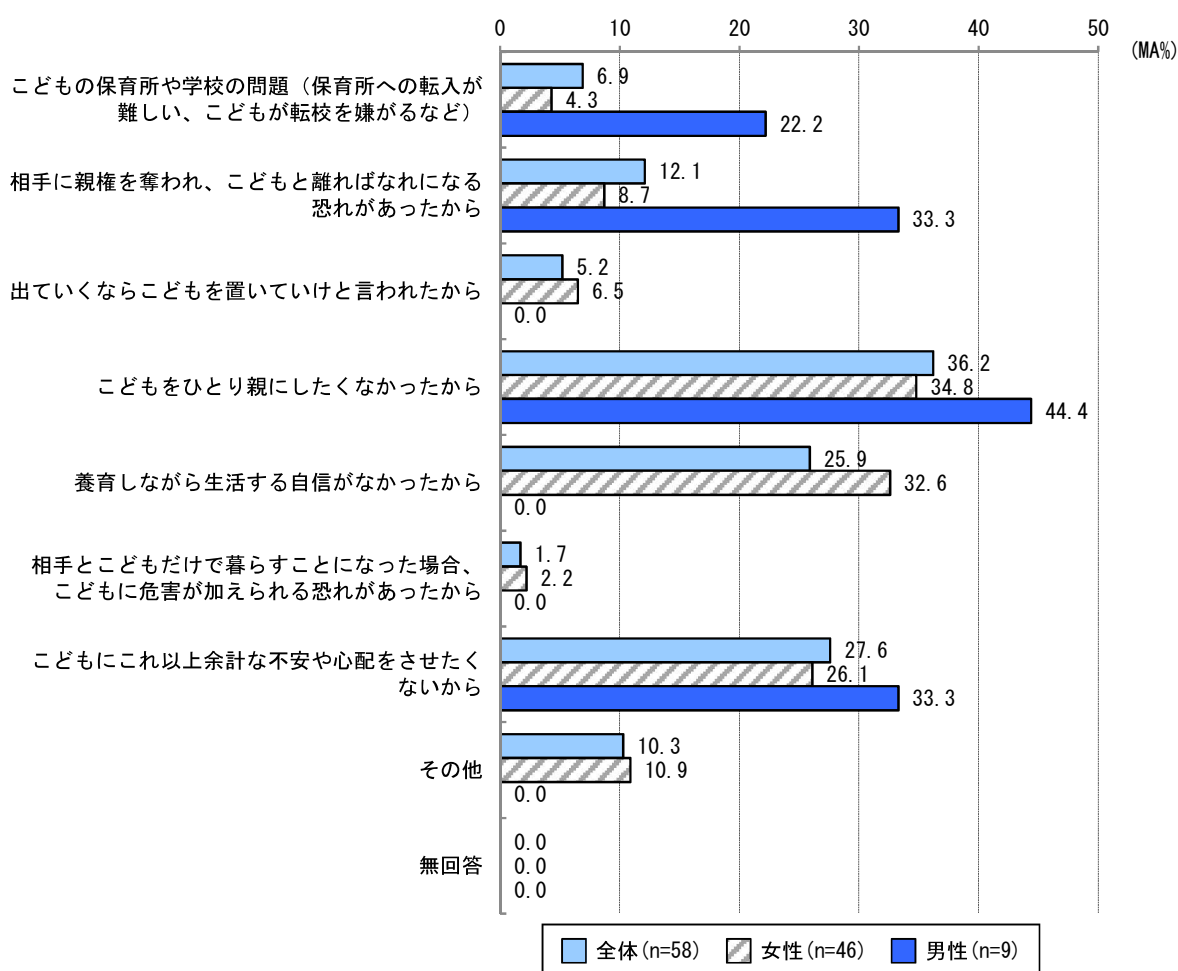
問28-2は、問28-1で「J. こどもがいるから、こどものことを考えたから」と回答した方にお聞きします。

問28-2 あなたが、こどものことで相手と別れなかった最も大きな理由は何ですか。(〇は一つ)

全体は、「こどもをひとり親にしたくなかったから」(36.2%)が最も多く、次いで「こどもにこれ以上余計な不安や心配をさせたくないから」(27.6%)となっている。

性別で見ると、男性のサンプル数が少ないため、一概に言えないが、男女とも「こどもをひとり親にしたくなかったから」の割合が最も高く、女性は34.8%(16人)、男性が44.4%(4人)となっている。

前回調査との比較で見ると、全体は「こどもをひとり親にしたくなかったから」の割合が前回より16.8ポイント高くなっている。



※設問文では「〇は一つ」としているものの、複数選択した回答者が多かったため、複数回答設問として集計している。

【前回調査（令和2年）】

(単位：MA%)	前回調査（令和2年）		
	全体 (n=62)	女性 (n=54)	男性 (n=8)
こどもの保育所や学校の問題（保育所への転入が難しい、こどもが転校を嫌がるなど）	-	-	-
相手に親権を奪われ、こどもと離ればなれになる恐れがあったから	3.2	-	25.0
出ていくならこどもを置いていけと言われたから	1.6	1.9	-
こどもをひとり親にしたくなかったから	19.4	20.4	12.5
養育しながら生活する自信がなかったから	30.6	35.2	-
相手とこどもだけで暮らすことになった場合、こどもに危害が加えられる恐れがあったから	-	-	-
こどもにこれ以上余計な不安や心配をさせたくないから	21.0	18.5	37.5
その他	4.8	3.7	12.5
無回答	19.4	20.4	12.5

(16) 命の危険を感じた経験

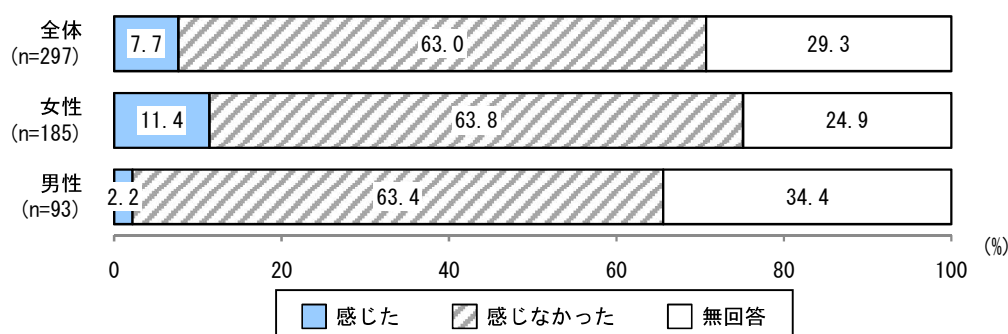
問29、問30は、配偶者や交際相手から暴力を受けた経験がある方に改めてお聞きします。
 問29 あなたはこれまでに、あなたの配偶者や交際相手から受けた暴力等によって、命の危険を感じたことがありますか。①配偶者から②交際相手からそれぞれでお答えください。（それぞれ○は一つ）

①配偶者からの暴力

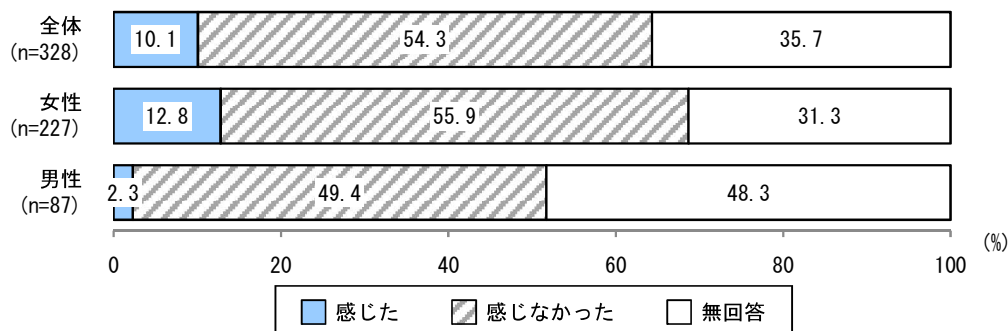
全体は、「感じた」が7.7%、「感じなかった」が63.0%となっている。

性別で見ると、女性の「感じた」の割合は男性に比べ9.2ポイント高くなっている。

前回調査との比較で見ると、全体は「感じた」の割合は前回より2.4ポイント低くなっている。



【前回調査（令和2年）】

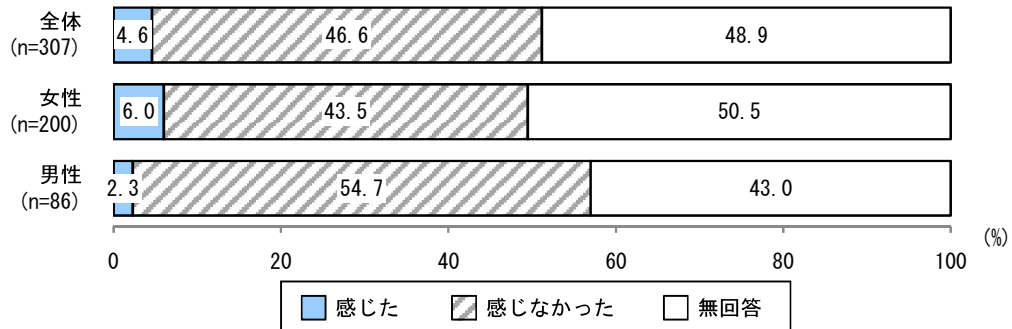


②交際相手からの暴力

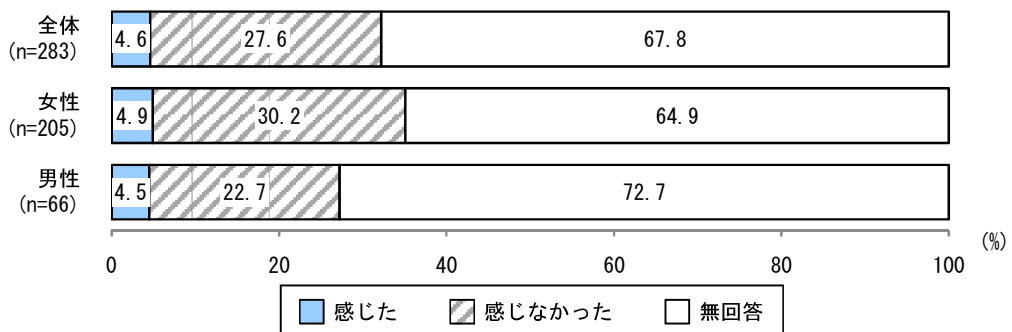
全体は、「感じた」が4.6%、「感じなかった」が46.6%となっている。

性別で見ると、女性の「感じた」の割合は男性に比べ3.7ポイント高くなっている。

前回調査との比較で見ると、全体は「感じなかった」の割合は前回より19.0ポイント高くなっている。



【前回調査（令和2年）】



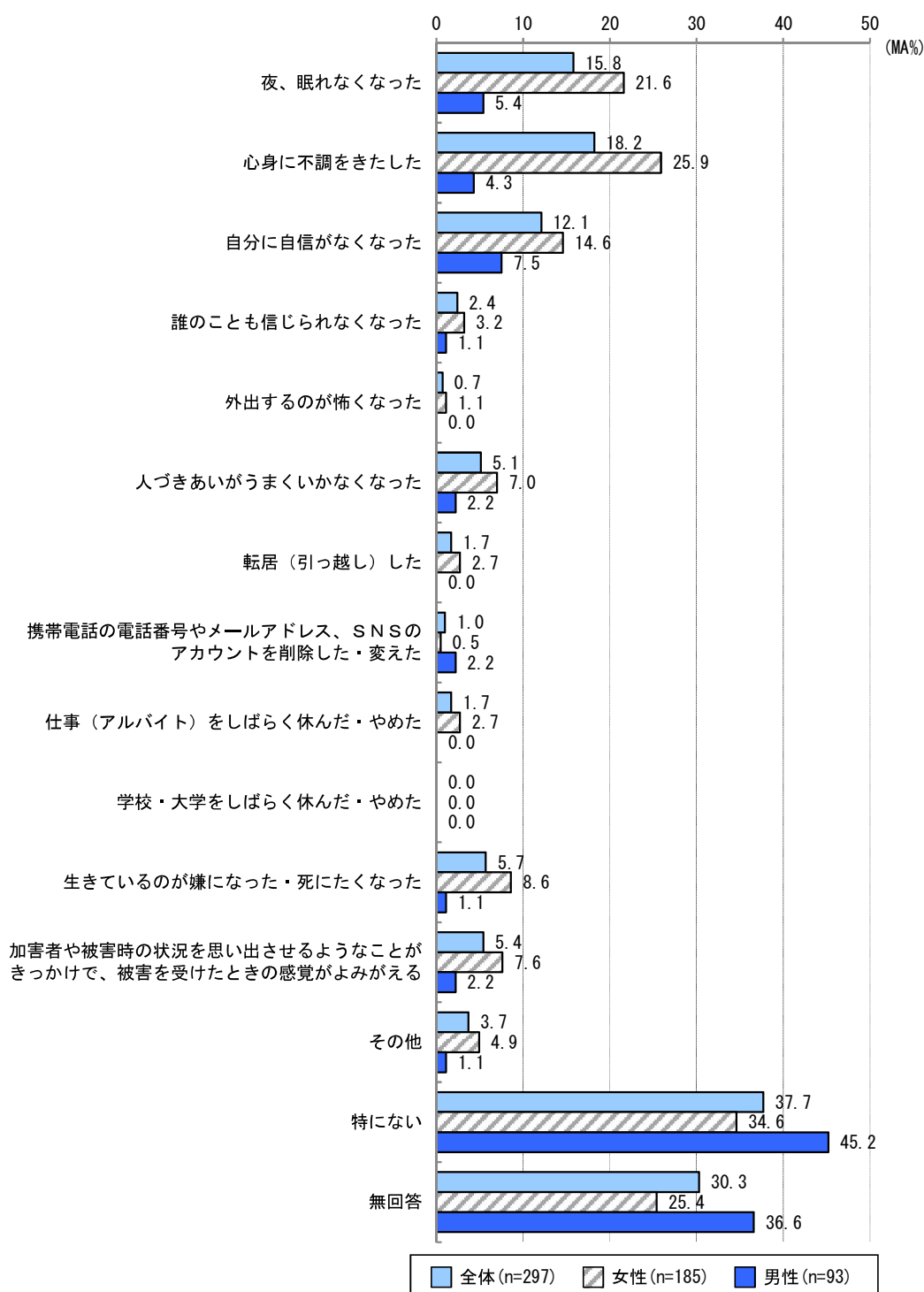
(17) 配偶者や交際相手からの被害による生活上の変化

問30 あなたは、配偶者や交際相手から受けたそのような行為によって、生活上の変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

①配偶者からの暴力

全体は、「特にない」「無回答」を除くと、「心身に不調をきたした」(18.2%)が最も多く、次いで「夜、眠れなくなった」(15.8%)となっている。

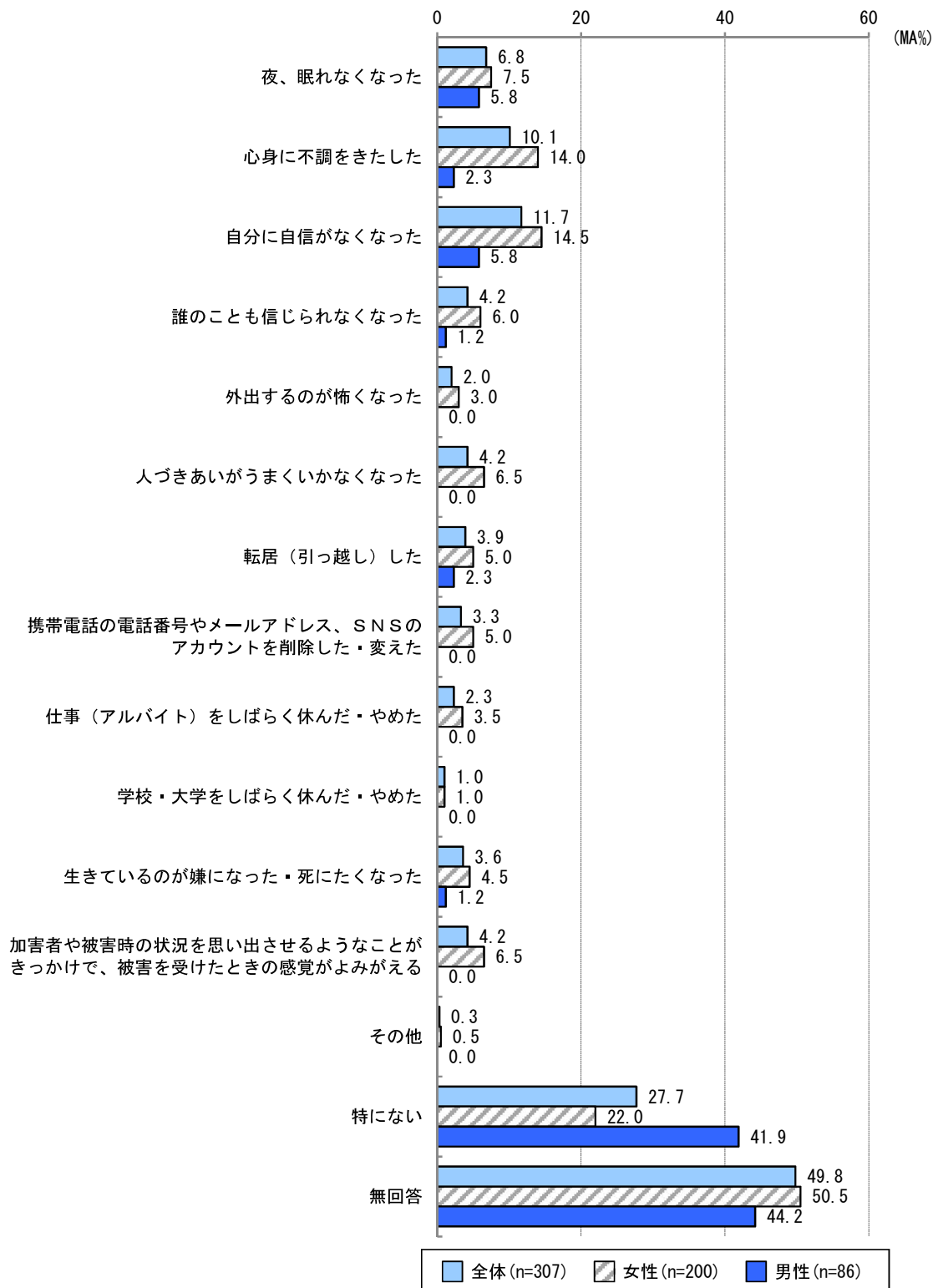
性別で見ると、女性の「夜、眠れなくなった」「心身に不調をきたした」の割合は男性に比べ10ポイント以上高くなっている。



②交際相手からの暴力

全体は、「特にない」「無回答」を除くと、「自分に自信がなくなった」(11.7%)で最も多く、次いで「心身に不調をきたした」(10.1%)となっている。

性別で見ると、すべての項目で男性より女性の割合が高く、女性の「心身に不調をきたした」の割合は男性に比べ11.7ポイント高くなっている。

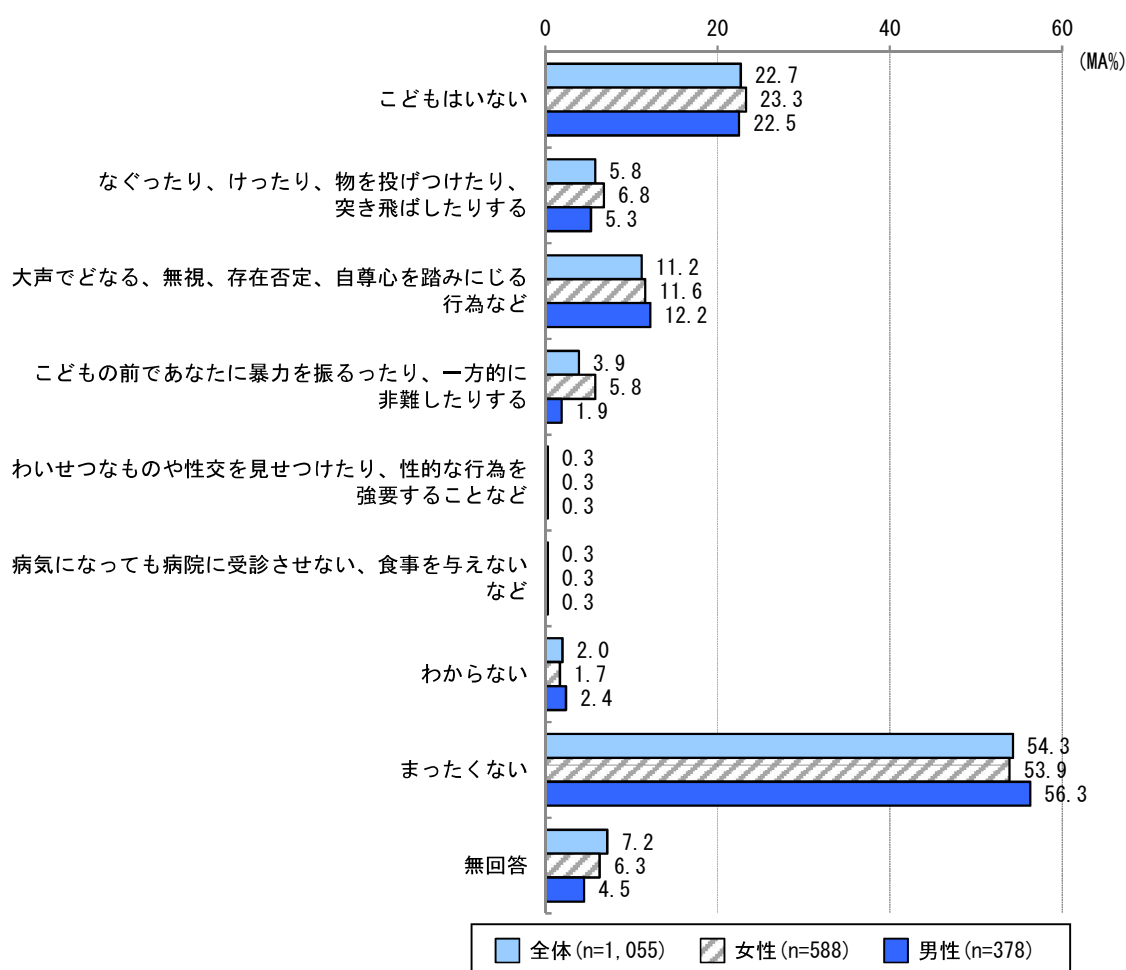


(18) こどもの被害経験

既婚、未婚に関わらず、現在・過去に交際相手がいる・いた人すべてにお聞きします。
 問31 あなたの配偶者や交際相手は、お子さん（ご自身の子どもだけでなく、配偶者や交際相手の子どもを含みます）に次のようなことをしたことがありますか。
 （あてはまるものすべてに○）

全体は、「まったくない」(54.3%)が最も多く、次いで「子どもはいない」(22.7%)、「大声でどなる、無視、存在否定、自尊心を踏みにじる行為など」(11.2%)となっている。

性別で見ると、男女とも「まったくない」の割合が50%台で最も高い。女性の「子どもの前であなたに暴力を振るったり、一方的に非難したりする」の割合は男性に比べ3.9ポイント高くなっている。

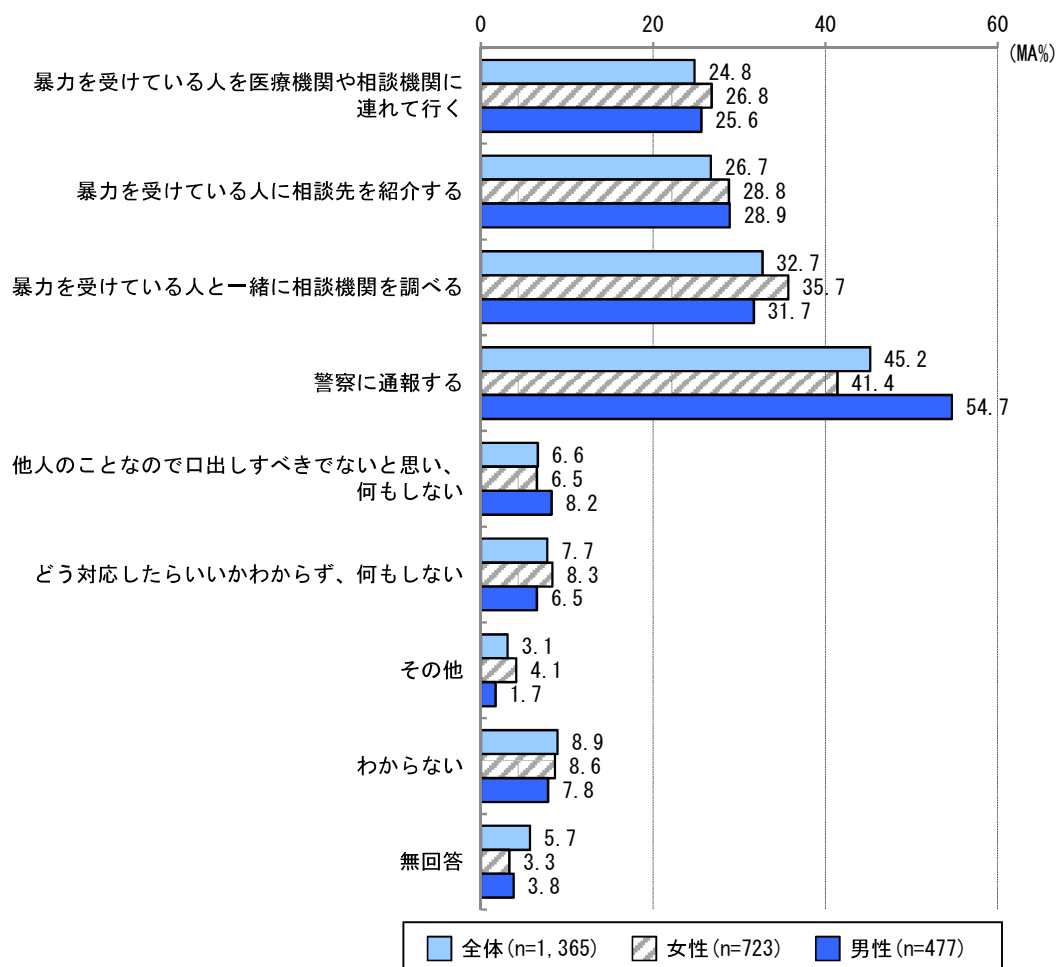


(19) 周囲に配偶者や交際相手から暴力を受けている人がいた場合にできること

問32 もしあなたの周囲に、配偶者や交際相手から下記の（参考）で挙げているような暴力を受けている（かもしれない）人がいた場合、あなたはどんなことができると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

全体は、「警察に通報する」（45.2%）が最も多く、次いで「暴力を受けている人と一緒に相談機関を調べる」（32.7%）となっている。

性別で見ると、男女とも「警察に通報する」の割合が最も高く、女性の割合が男性に比べて13.3ポイント低くなっている。



(参考)

- A 身体的な暴力（なぐる、ける、物を投げつけるなど）
- B 経済的な暴力（給料・バイト代や貯金を勝手に使われる、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど）
- C 精神的な暴力（人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、無視するなど）
- D 性的な暴力（嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしないなど）
- E 社会的な暴力（携帯電話の番号やメール・SNS（LINE等）を勝手にチェックしたり、外出や行動を制限・監視したり、家族や知人に会わせないなど）
- F こどもを巻き込んだ暴力（こどもの前で暴力を振るう、こどもの前で一方的に非難する、こどもに暴力を振るう、「こどもに危害を加える」などと言って脅すなど）

(20) 男女間における暴力防止に必要なこと

問33 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。
(あてはまるものすべてに○)

全体は、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(55.5%)が最も多く、次いで「加害者への罰則を強化する」(55.0%)となっている。

性別で見ると、女性で「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」「医療やこころのケア等のカウンセリングなどの専門相談を受けられる環境を整える」「被害者の保護や自立のための生活支援制度を充実させる」「暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」「暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、オンラインゲームなど)を取り締まる」「男女間の経済的・社会的な地位や力の格差をなくす」の割合が男性に比べて5ポイント以上高い。

